PM-A850 スキャナ操作ガイド（Macintosh 編）

もくじ

画像取り込みの基本操作

お好みの画像サイズで取り込もう

フィルムや写真をきれいに取り込もう

原稿に合った設定で取り込もう

便利な取り込み方法

取り込んだ画像の活用方法

トラブル対処方法

ソフトウェア関連情報

メンテナンス

本機について

マメ知識

付録

画像取り込みの基本操作

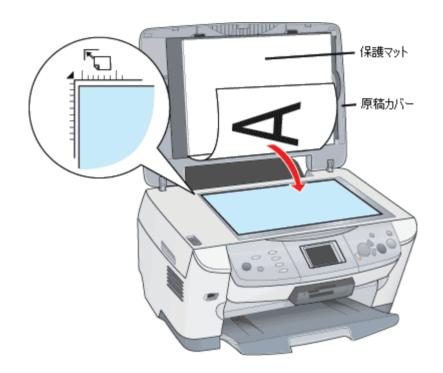
写真、雑誌など（反射原稿）のセット方法

ここでは、写真、雑誌など（反射原稿と呼びます）のセット方法を説明します。

注意

原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

1. **原稿カバーを開きます。原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

原稿台の左上に、原稿の右上端（原稿を裏から見た場合）を合わせてセットします。

ポイント

- 反射原稿を取り込む場合には、必ず保護マットを取り付けてください。
- 原稿はまっすぐにセットしてください。
- 原稿マークから内側に最大約 2.5mm の範囲は読み取りできません。詳しくは『基本操作ガイド（冊子）』の「スキャナの使い方」をご覧ください。
- 原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、以下の項目を参照してください。
  「原稿台よりも大きい原稿のセット」6
- 全自動モード選択時、またはプレビューをサムネイル表示する場合
  ・取り込み領域の端面から 3mm 以上離してセットしてください。
  ・複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真との間隔を 20mm 以上空けてください。
  ・原稿が少し傾いていても、傾きは自動的に補正されますが、原稿によっては補正できない場合があります。
  できるだけまっすぐセットしてください。
  「全自動モード、またはサムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない」149
  ・全自動モードで取り込んだ原稿の端の部分は、若干切り取られる場合があります。
  詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

2. **原稿が動かないように注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。**

原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれる場合があります。

注意

写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

ポイント

- 原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。
- 原稿は、取り込み面が平らなものを使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、取り込んだ画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

以上で原稿のセットは終了です。

原稿台よりも大きい原稿のセット

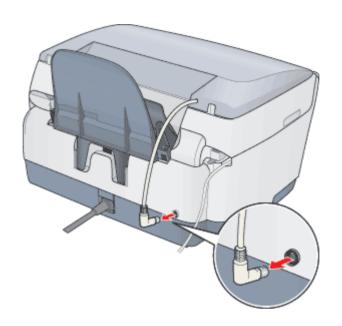
原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。
原稿をセットしたら、原稿を上から押さえるように、外した原稿カバーを載せて取り込んでください。また、厚手の雑誌などは、外した原稿カバーを上から軽く押さえるようにしてください。

ポイント

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がった部分から光が入らないようにしてください。

- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

原稿カバーの取り外しと取り付け

1. **電源ボタンを押して、電源をオフにします。**
2. **フィルムスキャンユニット用ケーブルを、フィルムスキャンユニット用コネクタから外します。**

3. **カバーを開けた状態で、まっすぐに持ち上げます。**

原稿カバーを取り付けるときは、上から差し込んで取り付けてください。

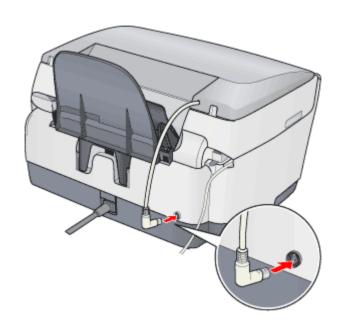
フィルムのセット方法

ここでは、ポジフィルムやネガフィルムなどのフィルムのセット方法を説明します。

原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

準備

1. **フィルムスキャンユニット用ケーブルが、本機に接続されているか確認してください。**

   フィルムスキャンユニット用ケーブルが外れている場合は、本機の電源をオフにして接続してください。

2. **原稿カバーを開け、保護マットを矢印の方向に引き出して取り外します。**

使用できるフィルム

本機で取り込めるフィルムは次の通りです。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ） 「35mm ストリップフィルムのセット方法」11	一般の 35mm フィルムを 6 コマずつに切ったフィルムのことです。 ネガフィルム：画像の色彩／白黒が反転して記録されているフィルムです（一般的なフィルムです）。 ポジフィルム：色彩／白黒がそのまま再現されていてるフィルムです（カラースライド用のフィルムです）。
35mm マウントフィルム 「35mmマウントフィルムのセット方法」14	スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだものです。スライドフィルムとも言います。

ポイント

フィルムの脇に書いてあるメーカー名や数字などを正しく読める側をベース面と言います。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。膜面は、乳剤面またはエマルジョン面とも言います。

全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法

全自動モード、およびホーム／プロフェッショナルモードで、プレビューをサムネイル表示する場合に、認識できるフィルムとセット方法について説明します。

認識できるフィルム

- 35mm ストリップのネガ、ポジフィルム
- マウントされたポジフィルム

いずれも白黒、カラーフィルム対応。ただし、全自動モードはカラーフィルムのみです。

次のフィルムは認識できませんので、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

- ハーフサイズ（標準コマを 2 分割したサイズ）
- 標準コマを 2 つ（もしくは２つ以上）使用したパノラマ
- 夜景や天体写真など、背景が暗い画像
- 全自動モードの場合は、モノクロフィルム

セット方法

- 必ず本機に付属のフィルムホルダを使用してセットしてください。

こんなときは

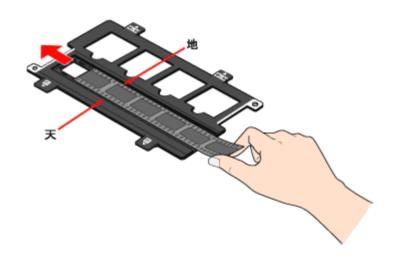
- サムネイル表示の場合、フィルム全体を取り込みたい場合
  ［環境設定］ダイアログボックスの［プレビュー］タブをクリックし、［サムネイル取込領域］を調整してください。
- 全自動モードでフィルムを取り込む場合、あるいはホーム / プロフェッショナルモードでサムネイル表示する場合、フィルムによっては、意図する結果で取りこめないことがあります。その場合は、ホームモードかプロフェッショナルモードで通常表示でプレビューし、取り込み領域を指定してから取り込んでください。
  「取り込み枠の調整方法」25

35mm ストリップフィルムのセット方法

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）を取り込む場合は、同梱のフィルムホルダを使用します。

1. **フィルムホルダのカバーを取り外します。**

   ツメを外してカバーを取り外してください。

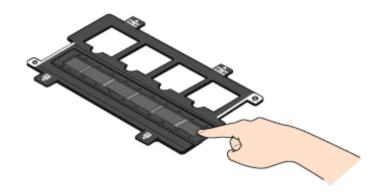
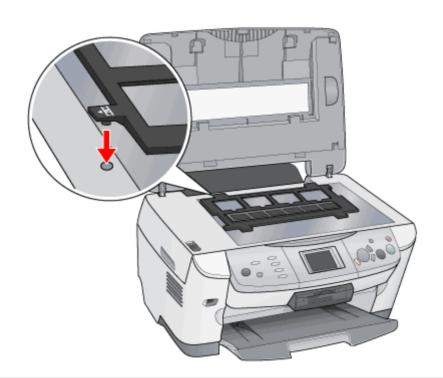
2. **フィルムをフィルムホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下にして、フィルムの天地を下図のように向けてください。**

ポイント

- フィルムを持つ際は、指紋が付かないように、イラストのように端面を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。
- 短いフィルムをセットするときは、必ずフィルムホルダの奥に詰めてセットしてください。
- プレビューがうまくいかないときは、フィルムホルダの中心にフィルムをセットしてみてください。

こんなときは

フィルムの天地を間違えてセットした場合
サムネイル表示の場合は、[90 度回転］ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
[全選択］ボタンをクリックしてから、[90 度回転］ボタンを使うと一括でコマの向きを変えられます。

3. **フィルムホルダのカバーをセットします。**

フィルムホルダの下部にある溝にカバーのツメをはめ、手前のツマミをカチッと音がするまで押してセットしてください。また、カバー全体を押して、浮いている部分がないか確認してください。

4. **原稿カバーを開け、次の図のように、フィルムを原稿台の真ん中にセットしてください。そのとき、フィルムホルダにある突起が、原稿台にある穴にはまるようにセットしてください。**

ポイント

フィルムホルダの切り欠き部分を、フィルムや原稿などでふさがないでください。

こんなときは

全自動モードでフィルムを取り込む場合、またはプレビューをサムネイル表示する場合
全自動モード、およびホーム／プロフェッショナルモードで、プレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。
「全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法」9

5. **フィルムが動かないように注意して、原稿カバーを静かに閉じます。**

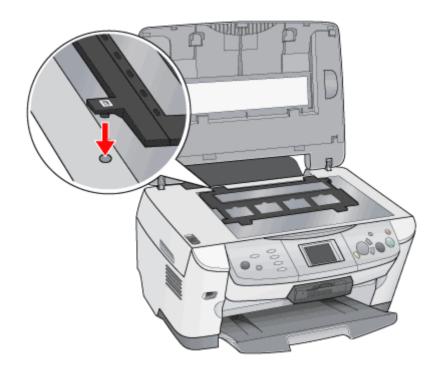
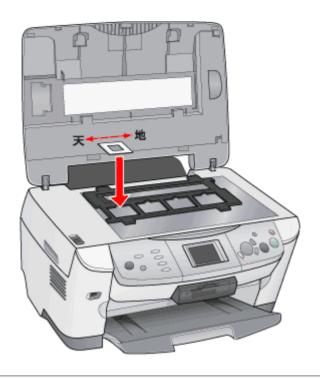
ポイント

原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。

以上で、35mm ストリップフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してストリップフィルムを取り込みます。
「EPSON Scan の起動方法」17

35mm マウントフィルムのセット方法

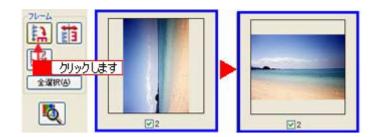
35mm マウントフィルムを取り込む場合は、同梱のフィルムホルダを使用します。

1. 原稿カバーを開け、次の図のように、マウントフィルムをセットする部分を、原稿台の真ん中にセットしてください。そのとき、フィルムホルダにある突起が、原稿台にある穴にはまるようにセットしてください。

2. フィルムをフィルムホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下にして、フィルムの天地を下図のように向けてください。

ポイント

- マウントは 2mm 以内の厚さのものを使用してください。
- フィルムホルダの上側の切り欠き部分を、フィルムや原稿などでふさがないでください。

こんなときは

- フィルムの天地を間違えてセットした場合
  サムネイル表示の場合は、[90 度回転] ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
  [全選択] ボタンをクリックしてから、[90 度回転] ボタンを使うと一括でコマの向きを変えられます。

- 全自動モードでフィルムを取り込む場合、またはプレビューをサムネイル表示する場合
  全自動モード、およびホーム／プロフェッショナルモードで、プレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。
  「全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法」9

3. **フィルムが動かないように注意して、原稿カバーを静かに閉じます。**

原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。

以上で、35mm マウントフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してマウントフィルムを取り込みます。
「EPSON Scan の起動方法」17

EPSON Scan の起動方法

EPSON Scan の起動には、

- 自動的にファイル名を付けて保存できる単独起動
  「EPSON Scan を単独起動」17
- 使い慣れたアプリケーションソフトで画像を取り込み、すぐに編集できる TWAIN 対応アプリケーションソフトからの起動
  「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」18
- コピー、E メール、OCR（光学文字認識）、DPE などの機能を備えた EPSON Smart Panel からの起動
  「操作パネルのボタンを使って起動」21

の 3 つの起動方法があります。

EPSON Scan を単独起動

EPSON Scan を単独起動する方法を説明します。単独起動で取り込んだ画像は、自動的にファイル名を付けて保存できます。

1. EPSON Scan を起動します。

   アップルメニュー -［EPSON Scan］をクリックします。

   Mac OS X の場合は、ハードディスク -［アプリケーション］フォルダ -［EPSON Scan］をダブルクリックします。

2. EPSON Scan が起動し、［保存ファイルの設定］画面が表示されます。

   必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定し、［OK］ボタンをクリックします。
   ［次回スキャン時に、このダイアログを表示する］チェックボックスのチェックを外すと、次回から表示されなくなります。

3. **EPSON Scan 画面が表示されます。**

EPSON Scan を初めて起動した場合は、全自動モードが起動します。
EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下をご覧ください。
「画像を補正する場合のおすすめモードの選択方法」23

全自動モード画面

ポイント
簡単な画像の調整をしてから、手軽に取り込みたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られ、最もお勧めのモードです。

TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動

ここでは、付属の TWAIN 対応アプリケーション PhotoImpression を使って、EPSON Scan を起動する方法を説明します。

ポイント

- PhotoImpression の詳しい使い方については PhotoImpression のヘルプをご覧ください。
- Adobe Photoshop など、一般の TWAIN 対応アプリケーションからも EPSON Scan を起動することができます。一般的には、［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］でスキャナ名を選択するか、［TWAIN 対応機器の選択］でスキャナ名を選択後、［TWAIN 対応機器からの入力］を選択します。

1. **PhotoImpression を起動します。**

   デスクトップにある［Arcsoft PhotoImpression 5］アイコンをダブルクリックします。
   デスクトップにアイコンがない場合は、［ハードディスク］-［アプリケーション］（Application）フォルダ -［PhotoImpression5］フォルダ -［PhotoImpression］アイコンをダブルクリックして起動します。

2. **［カメラ / スキャナ］をクリックします。**

3. **［EPSON PM-A850］をクリックします。**

4. **EPSON Scan が起動します。**

初めて EPSON Scan を起動した場合は、全自動モードが起動します。
EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。
モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下をご覧ください。
「画像を補正する場合のおすすめモードの選択方法」 23

全自動モード画面

ポイント

簡単な画像の調整をしてから、手軽に取り込みたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られる最もお勧めのモードです。

操作パネルのボタンを使って起動

操作パネルのボタンを使って EPSON Smart Panel 経由で EPSON Scan を起動する方法を説明します。操作パネルのボタンを押して起動する EPSON Smart Panel についての詳細は以下をご覧ください。
「起動する機能を設定する」160

1. 本機の操作パネルの［スキャン］ボタンを押して、スキャナモードにします。

2. 操作パネルのボタンで「Scan to PC」を選択し、[OK] ボタンを押します。

EPSON Smart Panel が自動的に起動します。

操作パネルのボタンを押しても EPSON Smart Panel が起動しない場合は、以下の項目を参照して設定してください。
「本体のスキャナ関連ボタンを押しても動作しない」134

3. 用途に応じたアプリケーションソフトのボタンをクリックします。

クリックした後は、それぞれのアプリケーションソフトに最適な設定を行って EPSON Scan を起動してください。アプリケーションソフトの最適な設定についての詳細は以下をご覧ください。
「画像を活用する場合のおすすめの方法」103

画像を補正する場合のおすすめモードの選択方法

EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。目的と用途に合わせて各種機能を活用してください。

ここでは、各モードの特徴とモードの切り替え方法を説明します。

モードの特徴

各モードの特徴は以下のとおりです。

全自動モード

自動的に画像を取り込みます。
簡単に取り込みたい場合や、スキャナを初めて使用する場合にお勧めします。

＊原稿によっては、正常に取り込めない場合があります。思った通りの結果で取り込まれない場合は、ホームモード、またはプロフェッショナルモードにて、読み取り領域を手動で設定して取り込んでください。

ホームモード

簡単な設定で取り込むことができる、最もお勧めのモードです。出版用途でなければ、十分な品質が得られます。

プロフェッショナルモード

高度な画質調整機能を備えたモードです。出版用途での利用や、他のモードより詳細な設定をして取り込みたい場合にご使用ください。

モードの切り替え方法

モードは、次の方法で切り替えてください。

初めて起動した場合、または全自動モードを選択している場合

初めて起動した場合は、全自動モードが起動します。モードを切り替えたい場合は、自動認識中に［停止］ボタンをクリックしてください。

スキャン動作が停止しますので、画面の右上にある［モード］のプルダウンメニューでモードを切り替えてください。

［停止］ボタンは、自動認識中しか表示されません。モードの切り替えは、一旦、［停止］ボタンをクリックしてから行ってください。

自動認識が終わってスキャン中（または、スキャンして EPSON Scan 以外のアプリケーションソフトへ画像を転送中）は、［キャンセル］ボタンに変わります。［キャンセル］ボタンを押すと、スキャンを中止して、EPSON Scan が終了します。その場合は、再度、EPSON Scan を起動してください。

全自動モード以外を選択している場合

［モード］のプルダウンメニューから選択します。

取り込み枠の調整方法

原稿の一部分だけ取り込みたい場合は、プレビューし、プレビュー画面で領域を指定します。

ポイント

- 例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像を取り込むことができます。
- 作成できる取り込み枠の数は以下の通りです。
  通常表示の場合：50 個まで
  サムネイル表示の場合：1 コマに対して 1 個のみ
- TWAIN 対応アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動した場合、通常表示で複数の取り込み枠を指定しても、アプリケーションソフトが複数枚取り込みに対応していないと、最後に選択した領域のみが取り込まれます。（サムネイル表示では、取り込み枠は 1 つしか指定できません。）

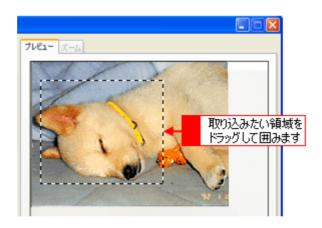
取り込み枠をマウスで指定する

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードまたは、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **プレビューします。**

メインウィンドウにある［プレビュー］ボタン右横の縦長の（ ）ボタンをクリックし、表示されるメニューで［通常表示］または［サムネイル表示］を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。
ただし、原稿種によって、縦長のボタンは表示されません。その場合は、通常表示のみになります。

3. **プレビュー画面上で、ドラッグして取り込み枠を指定します。**

出力サイズを指定して取り込み枠を作成する

取り込んだ画像の出力サイズを指定します。

1. **出力サイズを選択します。**

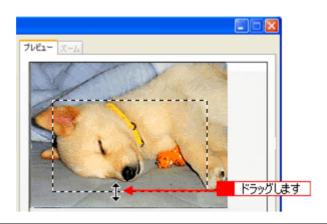
［出力サイズ］リストから、出力するサイズを選択します。

指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。取り込み枠を拡大／縮小または移動して取り込む領域を決めてください。このとき、取り込み枠の縦横比は維持されます。

取り込み枠を削除したい場合は、ボタンをクリックします。

取り込み枠を広げる、狭める

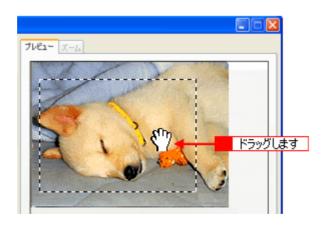
指定した取り込み枠を広げたり、狭めることができます。

1. **取り込み枠の線上にカーソルを移動すると矢印の形になります。このとき、広げたい、または狭めたい方向の線上に、ポインタを合わせてドラッグします。**

ポイント

- 取り込み枠を変形させると、プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、取り込み後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量の目安が連動して表示されます。
- 縦横比を固定して調整するには、［shift］キーを押しながらドラッグします。
- 取り込み枠を削除したい場合は、ボタンをクリックします。

取り込む位置を変更する

取り込み枠を、別の位置に移動できます。取り込み枠のサイズは変わりません。

1. **取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になります。このとき、ドラッグして移動できます。**

取り込んだ画像の保存方法

取り込んだ画像の保存方法について説明します。

EPSON Scan を単独起動した場合

1. [スキャン] ボタンをクリックします。

ホームモード、プロフェッショナルモードの場合は、[スキャン] ボタンをクリックすると、[保存ファイルの設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [保存先]、[ファイル名]、[保存形式] を設定してください。

[保存形式] については、以下の項目を参照してください。
「画像ファイル形式について」28

- [保存ファイルの設定] ダイアログボックスは、[スキャン] ボタン右横にある縦長の ( ) ボタンをクリックし、[保存ファイルの設定] を選択しても表示されます。
- [保存ファイルの設定] ダイアログボックスでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」156

3. [OK] ボタンをクリックします。

画像が取り込まれます。

後で画像を開く時はこの [保存先] で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

画像ファイル形式について

主な画像のファイル形式を紹介します。
Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションソフトで開くことができます。

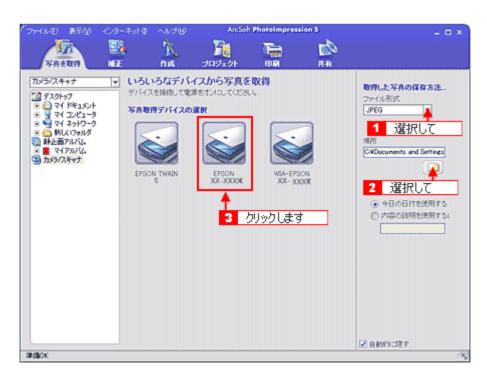
形式（拡張子）	説 明
BMP 形式 （＊ .BMP ）	多くの Windows 用アプリケーションソフトが対応しているファイル形式です。
PICT 形式	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Macintosh 用アプリケーションソフトが対応しています。
JPEG 形式 （＊ .JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータへは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。レタッチなどの加工が前提の場合、TIFF 形式などで保存してください。
Multi － TIFF 形式 （＊ .TIF ）	TIFF 形式ですが、複数ページのデータが 1 つのファイルにまとめて保存されます。
PDF 形式 （＊ .pdf ）	Windows と Macintosh で、画面表示・印刷結果ともに同様の見栄えが得られる汎用的なドキュメント形式です。
TIFF 形式 （＊ .TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。

TWAIN 対応アプリケーションソフトで保存する場合

ここでは、本スキャナに付属の PhotoImpression を例に、取り込んだ画像の保存方法を説明します。

PhotoImpression では、画像を取り込む前に保存先を指定します。

1. **保存方法を設定します。**

   ［ファイル形式］で保存するファイル形式を選択し、［場所］で保存するフォルダを選択してください。
   選択したら、［EPSON PM-A850］をクリックします。

EPSON Scan が起動します。画像を取り込み終わると、選択したフォルダに画像が保存されます。

ポイント

- 保存の手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションによって異なります。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

以上で、取り込んだ画像の保存は終了です。

画像を補正する場合のおすすめモード

ここでは、使用できるオプションや、取り込む画像の目的に応じたお勧めのモードを説明します。

◎ 最適なモード　○ 使用できるモード　× 使用できないモード

目的	全自動モード	ホームモード	プロフェッショナルモード
フィルムを取り込む 「フィルムのセット方法」8	○	○	○
出力サイズの指定 （定型サイズに簡単に拡大／縮小） 「拡大／縮小の設定方法」33 B5 A4	×	○	◎
明るさ・色あいの調整 「明暗を厳密に調整する方法」50	×	○	◎
モアレ（網目状の陰影）を取り除く 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」60	×	○	○

文字原稿／線画のかすれ補正 「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」78	×	○	○
原稿台より大きな原稿を取り込む 「原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう」86	×	×	○
フィルムのデジタル化 （お持ちのフィルムをデジタル化して保存） 「フィルムをインデックス画像として取り込もう」94	○	◎	◎
フィルムのホコリを修復補正して取りこむ 「フィルムのゴミを取り除く方法」64	×	◎	◎

お好みの画像サイズで取り込もう

拡大／縮小を設定できるモード

拡大／縮小の設定ができるのはホームモードとプロフェッショナルモードです。ここでは、それぞれの設定の違いを簡単に説明します。

モードによる拡大縮小の設定の違い

取り込みたい画像の拡大／縮小方法によって、適切なモードを選択してください。

ホームモード	出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。［出力サイズ］で等倍以外を設定した場合、取り込み枠の縦横比は固定です。
プロフェッショナルモード	・出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。 ・初期設定では、取り込み枠の縦横比は固定ですが、トリミングを「なし」に設定すると、取り込みたい領域を出力したいサイズに拡大／縮小して取り込むことができます。

ポイント

プロフェッショナルモードで使用できる「トリミング」について
作成済みの取り込み枠の縦横比を維持するか、または選択した出力サイズの縦横比に変えるかどうかを設定する機能です。この設定によって、倍率も自動的に変わります。
詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

実際の拡大／縮小の設定方法については、以下をご覧ください。
「拡大／縮小の設定方法」33

拡大／縮小の設定方法

カラー写真を壁紙またはデスクトップピクチャのサイズで取り込む手順を例に、ホームモード、プロフェッショナルモードの場合の取り込み手順を説明します。
「ホームモードの場合」33
「プロフェッショナルモードの場合」34

ポイント
解像度を設定する場合は、目的に応じた解像度を設定してください。用途に応じた最適な解像度については、以下の項目を参照してください。
「解像度を上げるときれいになる？」44

サムネイル表示と通常表示での取り込み方法を説明します。複数の原稿を取り込む場合はサムネイル表示が便利です。

ホームモードの場合

1. **本機の原稿台に、カラー写真をセットします。**
2. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

3. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を目的に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
   出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。
   ここでは、［スクリーン /Web］を選択します。

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

   通常表示を選択するには、メインウィンドウにある［プレビュー］ボタン右横の縦長の（ ）ボタンをクリックし、表示されるメニューで通常表示を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

5. **出力サイズを設定します。**

   出力サイズリストから、出力するサイズを選択してください。
   ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面 -(768X1024)］を選択します。また、 ボタンをクリックすると縦／横のいずれの辺を基準に拡大 / 縮小するかを切り替えることができます。

   選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠がプレビュー画面に表示されます。

6. **取り込み枠をドラッグして移動し、取り込む領域を決めます。**

取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。取り込み枠を拡大／縮小する場合は、取り込み枠の角にカーソルを移動すると矢印になるので、ドラッグして大きさを調整してください。

ポイント

- 取り込み枠のサイズを拡大／縮小しても縦横比は変わりません。[出力サイズ] で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。
- 作成できる取り込み枠の数は以下の通りです。
  通常表示の場合：50 個まで
  サムネイル表示の場合：1 コマに対して 1 個のみ

7. **[スキャン] ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

指定したサイズで画像が取り込まれます。

8. **画像を保存します。**

「取り込んだ画像の保存方法」27

ポイント

- Macintosh のデスクトップピクチャ用の画像は PICT 形式で保存することをお勧めします（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙またはデスクトップピクチャに設定する場合を除く）。
- ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成、印刷用画像の作成、ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

プロフェッショナルモードの場合

プロフェッショナルモードでは、取り込みたい領域をお好みのサイズに拡大／縮小して取り込むことができます。

1. **本機の原稿台に、カラー写真をセットします。**

2. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

3. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

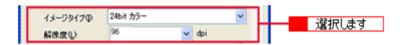
［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
［取込装置］、［自動露出］は原稿に適した項目を選択してください。

4. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

ここでは、解像度は 96dpi に設定します。

通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

サムネイル表示を選択するには、メインウィンドウにある［プレビュー］ボタン右横の縦長の（ ）ボタンをクリックし、表示されるメニューでサムネイル表示を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

6. **［出力サイズ］を設定します。**

ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面 -(768X1024)］を選択してください。また、 ボタンをクリックすると縦／横のいずれの辺を基準に拡大 / 縮小するかを切り替えることができます。

選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠がプレビュー画面に表示されます。

7. **作成された取り込み枠を拡大／縮小または移動し、取り込みたい領域を設定します。**

このとき、取り込み枠の縦横比は固定されています。また、倍率は自動的に計算されます。

ポイント

縦横比を固定せずに、思い通りの領域を取り込みたい場合：
手順 6 で、まず、出力サイズの横にある「 」をクリックして、トリミングを［なし］に設定してください。次に、取り込みたい領域を選択してから、［出力サイズ］を選択します。
取り込み後の画像サイズは、設定した出力サイズからはみ出ないサイズになります。（倍率が自動的に計算されます。）

8. ［スキャン］ボタンをクリックして画像を取り込みます。

指定したサイズで画像が取り込まれます。

9. 画像を保存します。

「取り込んだ画像の保存方法」27

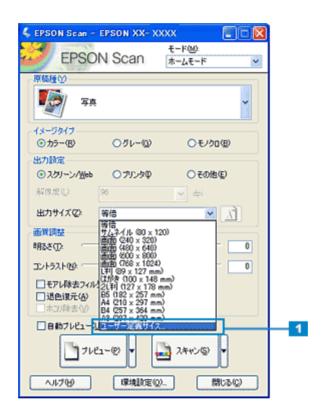
ポイント

- Macintosh のデスクトップピクチャ用の画像は PICT 形式で保存してください（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙またはデスクトップピクチャに設定する場合を除く）。
- ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成、印刷用画像の作成、ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

ユーザー定義サイズの作成方法

［出力サイズ］リストに、目的のサイズ（縦横のサイズ）がない場合は、目的のサイズを［ユーザー定義サイズ］として作成し、登録できます。

ポイント
- ［出力サイズ］は、ホームモード、プロフェッショナルモードで設定できます。
- ［出力サイズ］は、プレビュー後に設定できます。

1. **［出力サイズ］リストから、［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

2. **表示された画面で、［幅］と［高さ］を設定します。**

   設定できる最小値は 25.4mm（25 ピクセル、1 インチ）、最大値は 15,240.0mm（30,000 ピクセル、600 インチ）です。作成した定義サイズが選択できない場合は、［解像度］の設定値を下げてください。

3. **［出力サイズ名］を入力します。**

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

4. ［保存］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

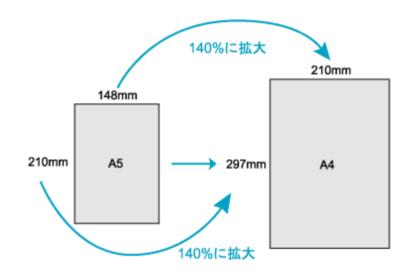
以上で、ユーザー定義サイズの作成と登録は終了です。

拡大／縮小と解像度の関係

解像度項目で設定する解像度は、出力解像度（取り込み後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナから取り込む際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。

拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。

縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズで拡大して取り込む場合を例に説明します。
A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。

従って、入力解像度は

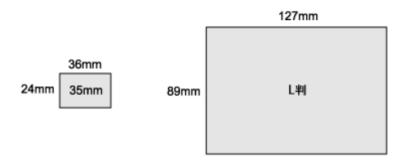
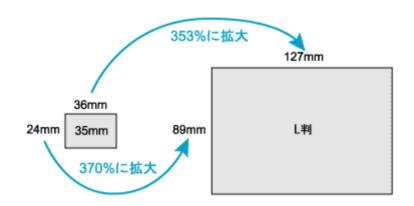
例えば、A5 サイズの原稿を
出力サイズ：A4
解像度：300dpi
の設定で取り込んだ場合、

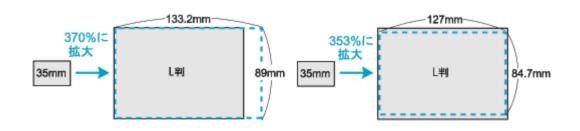
入力解像度は自動的に

300dpi × 140%＝ 420dpi

となります。

縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、例えば 35mm フィルムを L 判に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？
35mm フィルムと L 判はそれぞれ下図のサイズです。

35mm フィルムを L 判の大きさに拡大するには、縦を約 370%、横を 353% に拡大することになります。

この場合、35mm フィルムの縦の長さがちょうど収まる約 370% に拡大すると、横がはみ出してしまいます。はみ出した部分は切り取られてしまいます。
ただし、これは、プロフェッショナルモードを選択し、［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定している場合（初期設定）です。

元の画像を切り取ることなく収まるようにするには、縦に余白はできますが、横の長さがちょうど収まる約 353% に拡大します。この場合は、トリミングを［なし］に設定してください。

従って、L 判サイズに収まるように、約 353% 拡大すると入力解像度は

35mm フィルムを
出力サイズ：L 判
解像度：300dpi
の設定で取り込んだ場合、

入力解像度は自動的に

300dpi × 353%＝ 1059dpi

となります。

こんなときは

原稿と同じ大きさで取り込みたい場合：
出力サイズを等倍に設定してください。

ポイント

入力解像度と出力解像度を一致させたい場合は、出力サイズを等倍に設定してください。

フィルムや写真をきれいに取り込もう

画像をシャープにする方法

ここでは、原稿にシャープさが足りない場合に、アンシャープマスクの度合いを調整し、輪郭部分を強調してシャープに取り込む方法を説明します。

ポイント

- アンシャープマスクは、プロフェッショナルモードで使用できます。ホームモードでは、自動的に適用されます。ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。
- 全自動モードの場合は、認識された原稿種によって自動的にアンシャープマスクが適用されます。
- イメージタイプで［カラースムージング］、［モノクロ］を選択した場合は、設定できません。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］、［出力設定］を設定します。**

   原稿に適した項目を設定してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

4. **［お勧めの調整方法］を参照して、一通り画質の調整を行います。**

   「お勧めの調整方法」51

5. **［アンシャープマスクフィルタ］チェックボックスをチェックします。**

6. **必要に応じて［効果］を選択します。**

   ［アンシャープマスクフィルタ］の横にある「▷」をクリックして、アンシャープマスクの効果を、弱／中／強から選択してください。

調整前

調整後(中)

7. **取り込みを実行します。**

以上で、アンシャープマスクの調整は終了です。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。次の説明をご覧になり、各用途に合った解像度を設定してください。

用途に応じた解像度

用途に応じた解像度の目安は以下のとおりです。

用途	目安となる解像度	説明
E メール送信	96 〜 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。 「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」78
EPSON インクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合） 360dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像の取り込み／保存／読み込み／印刷などが遅くなります。
EPSON インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン／スーパーフォト印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合） 720dpi（白黒の線画の場合）	
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は 70 〜 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi で取り込んでも、画面から画像がはみ出してしまいます。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。
以下は、解像度ごとの画像データ容量です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L 判＊	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L 判＊	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿／線画	A4	—	約 1MB	約 4MB

＊約 90mm × 130mm

ポイント

- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビューウィンドウの下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。

48bit カラーを選ぶときれいになる？

ここでは、48bit カラーまたは 16bit グレーで取り込むことのメリットについて、48bit カラーを例に説明します。

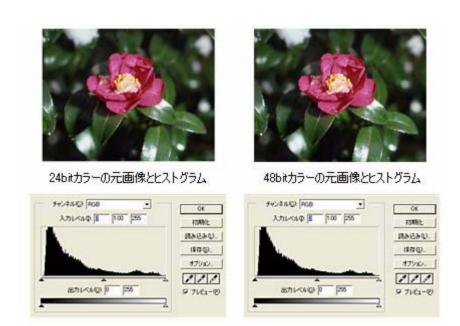
ポイント
イメージカラーで 48bit カラーまたは 16bit グレーを選択できるのは、プロフェッショナルモードのみです。

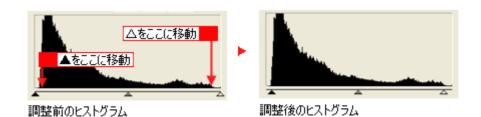
見た目に違いは分からない

48bit カラーで取り込んでも、24bit カラーで取り込んでも、ディスプレイ上では違いがわかりません。これは、コンピュータが 24bit までのデータしか扱えない（1,677 万色までしか表示できない）ためです。

では何が違うのか

見た目には違いが分からなくても、48iti カラーで取り込んだ画像はデータ量が豊富です。そのため、フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後の階調飛び（ヒストグラムの歯抜け）を少なくできます。

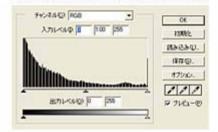
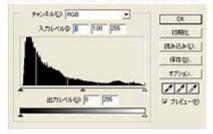
下図では、画像／ヒストグラムともに、24bit と 48bit の違いはわかりません。

元画像は白い部分（花の中心にある雪の部分）が白くなっていないため、データの中で本来は白であるべき部分が白くなるように、［ヒストグラム調整］ダイアログボックスで補正してみます。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動すると、取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。

下図は補正後の画像とヒストグラムです。

24bit の場合は、元々少ないデータの範囲を広げたため、所々で歯抜けが起きています。見た目はよくなりますが、階調表現力は厳密には低下します。

48bit の場合は、元々のデータ量が多いので、範囲を広げても歯抜けは最小限で済んでいます。階調表現力を損なわずに、見た目がよくなります。

補正後の24bitカラーの画像とヒストグラム

補正後の48bitカラーの画像とヒストグラム

48bit 入力の利用の仕方

出版用途などで画像の品質が重要な場合はもちろん、次のような利用の仕方もあります。

画質調整を使い慣れたフォトレタッチソフトで行う場合に利用

EPSON Scan では、自動露出調整だけを行い、厳密な画質調整をせずに 48bit で取り込みます。その後、使い慣れたフォトレタッチソフトでレタッチし、24bit に変換してください。
高品質の画像を効率よく作成することができます。

元々品質が悪い原稿を取り込む場合に利用

大幅なレタッチを行うと階調飛びが激しくなり、粗い画像になります。そのため、品質が悪い原稿を取り込む場合は、48bit で取り込んでおけば、24bit で取り込んだ場合に比べ、レタッチ後の階調飛びを抑えることができます。

データ容量について
コンピュータが扱えるデータは 24bit ですので、48bit で取り込む場合、その画像にはファイル 2 つ分のデータ容量が割り当てられます。
そのため、48bit 画像は 24bit 画像の 2 倍のデータ容量になります。ハードディスクやメモリ容量にご注意ください。

明暗を簡単に調整する方法

取り込んだ画像が明るすぎたり暗すぎた場合、明暗を調整して、メリハリのある画像にする方法を説明します。
ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。ここでの調整は［イメージタイプ］でカラー／グレーを選択した場合に使用できます。

明るさ／コントラストの調整

明るさは、取り込んだ画像が明るすぎたり、暗すぎる場合に調整します。コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。
コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に全体の明暗の差を少なくする場合に調整します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、フィルムの場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**
4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

「取り込み枠の調整方法」25
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

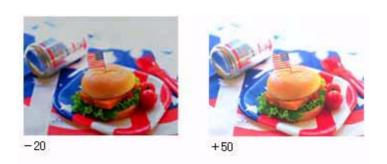
6. **［イメージ調整］ボタンをクリックします。**

イメージ調整ダイアログボックスが表示されます。

7. **明るさ、コントラストのスライダーを左右に動かして調整します。**

ポイント

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 〜 100 です。設定を -（マイナス）にすると暗くなり、設定を +（プラス）にすると明るくなります。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は -100 〜 100 です。コントラストを上げる（スライダを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダを左に動かす）と逆の効果が得られます。

明るさを調整した例

コントラストを調整した例

8. **イメージ調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

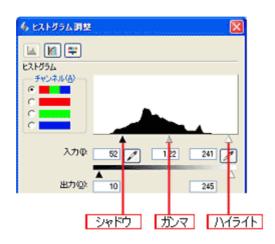
以上で、明暗の簡単な調整は終了です。

明暗を厳密に調整する方法

きれいな画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。ここでは、ハイライト／シャドウ／ガンマを調整し、明暗を厳密に調整する手順を説明します。

ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。

ヒストグラムを使って調整する

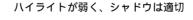
ヒストグラム調整では、ピクセル分布を見ながら調整できるため、モニタの表示能力の影響を受けずに、客観的に明暗を最適にできます。ヒストグラムとは、画像の黒（0 ）〜白（255 ）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したものです。
厳密に画像を調整するには、ヒストグラム調整をお勧めします。

ヒストグラムで調整する項目は以下の通りです。

ハイライト	画像のもっとも明るくしたい部分を設定します。
シャドウ	画像のもっとも暗くしたい部分を設定します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを設定します。

調整を始める前に

ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？下図の例のように、ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。ハイライト／シャドウ／ガンマを適切に調整して、画像がちょうどよい明るさになるように補正してください。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）

●ハイライトが弱く、シャドウは適切

●ハイライトは適切、シャドウが弱い

●ハイライトもシャドウも弱い

●ガンマが暗い方向に寄っている

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

ポイント

- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、プレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。
- 厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
「ディスプレイについて」181

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、フィルムの場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

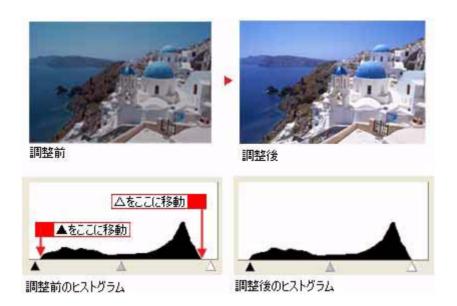
5. 取り込み枠を指定します。

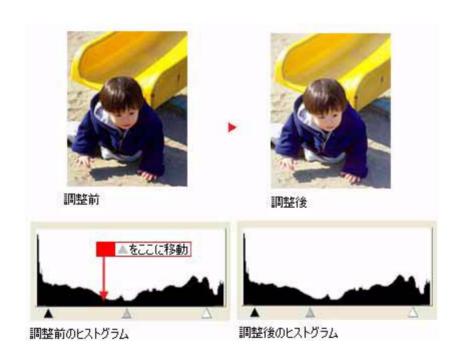
   「取り込み枠の調整方法」25
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. ［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。

   ヒストグラム調整ダイアログボックスが表示されます。

7. ハイライトとシャドウを調整します。

   ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
   取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。

8. **ガンマを調整します。**

ハイライトとシャドウの中間にある、ガンマポイントを移動してください。明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の明暗を調整します。例えば、夕方や曇りの日に撮ったため、全体的に暗くなってしまった写真などを補正できます。

ポイント

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビューウィンドウ上で切り替えたい枠またはコマをクリックしてください。このダイアログボックスを一旦閉じる必要はありません。

9. **調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。**

以上で、ちょうどよい明るさにするお勧め方法の手順説明は終了です。

ポイント

ちょうどよい明るさに調整するよりも、メリハリをつけたい場合には以下をご覧ください。

「メリハリをつけた調整をする方法」55

さらに微妙な調整をするには

ヒストグラムを調整した後、さらに微妙な調整をする場合は、濃度補正やシャドウ部／ハイライト部の階調補正をしてみましょう。

濃度補正

濃度はトーンとも言います。画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正します。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランスよく仕上げることができます。これは、現在プレビューウィンドウで選択されている取り込み枠に対して有効です。

1. **［濃度補正］ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。**

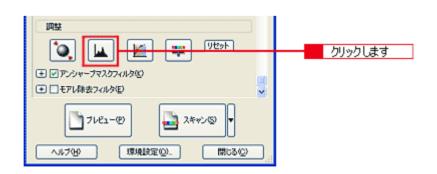
「濃度を調整する方法」56

シャドウ部／ハイライト部の階調補正

［ヒストグラム調整］ダイアログボックスで設定したハイライト点/シャドウ点より外側の階調を補正することができます。

2. **［ヒストグラム調整］ボタンをクリックし、［端部カーブ形状変更］ボタンを使用してシャドウ部／ハイライト部の階調を補正します。**

「シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法」58

以上で、明暗の厳密な調整は終了です。
以下の項目で色あいの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、通常、色あいの調整は必要ありません。
「より色鮮やかに取り込む方法」71

メリハリをつけた調整をする方法

ヒストグラムでハイライトとシャドウを調整して、メリハリのある画像に補正してみましょう。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

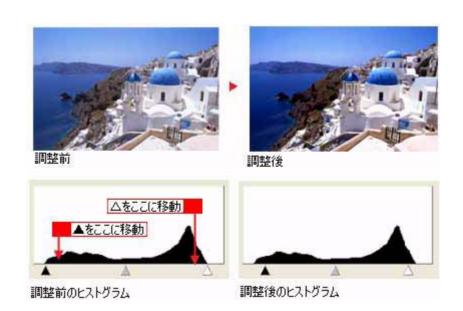
2. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

3. **［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。**

ヒストグラム調整ダイアログボックスが表示されます。

4. **ハイライトとシャドウを調整します。**

ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

テキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。

濃度を調整する方法

自動露出やヒストグラム調整で調整しきれない微妙な濃度の調整は、［濃度補正］で補正します。

1. EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。

「EPSON Scan の起動方法」17

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

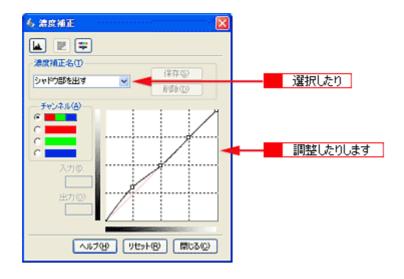
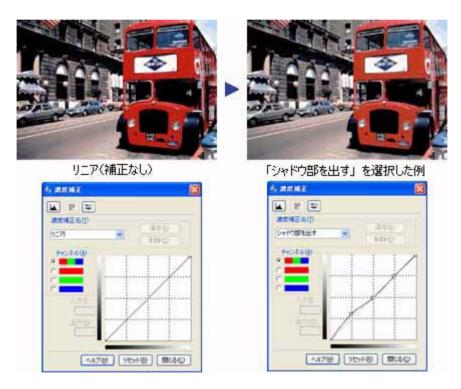
3. ［濃度調整］ ボタンをクリックします。

4. ［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。

露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、リニアのままで取り込んでください。
より浅い感じに	露出アンダーな画像を、より浅い（明るい）感じに補正します。（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことを言います）
より重い感じに	露出オーバーな画像を、より重い（暗い）感じに補正します。（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことを言います）
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。
コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷した時に、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。

5. トーン曲線で微調整したい部分を補正します。

調整が終了したら、濃度調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

ポイント

補正前の濃度に戻すには、［濃度補正名］で［リニア］を選択するか、［リセット］ボタンをクリックしてください。

シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法

ヒストグラムで設定したハイライト／シャドウポイントより外側の階調を、［端部カーブ形状変更］ボタンで調整することができます。

1. EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。

「EPSON Scan の起動方法」17

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

3. ［ヒストグラム調整］ボタンをクリックします。

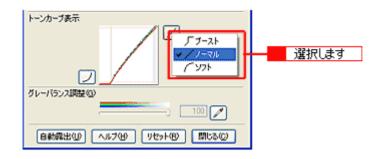
4. ［端部カーブ形状変更］ボタンをクリックします。

ハイライトまたはシャドウの［端部カーブ形状変更］ボタンをクリックし、補正したいメニューを選択してください。

ブースト	本来、白地である部分を真っ白に飛ばすまたは、本来、真っ黒である部分を真っ黒に潰す場合に選択してください。
ノーマル	ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。
ソフト	本来、白地ではない部分が真っ白に飛んでしまった場合や、本来、真っ黒ではない部分が真っ黒に潰れてしまった場合に選択してください。

次のように使用してください。

紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合 ：
ハイライト側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。白地部分が真っ白に飛ぶので、ムラや裏写りが消えます。

黒い部分のムラを除去したい場合 ：
シャドウ側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。黒い部分が真っ黒に潰れるので、ムラが除去されます。

下図は、ハイライト側のブーストを選択し、外側の白地部分を真っ白に飛ばして、裏写りを消した例です。

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法

ここでは、取り込んだ画像にモアレ（網目状の陰影）がある場合、モアレ除去を使用して取り除く方法を説明します。

ポイント

- モアレ除去を行うと、印刷物（雑誌、カタログなど）の取り込みで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。
- ホームモードの場合、原稿種でフィルム、またはイメージタイプで［モノクロ］を選択すると、モアレ除去フィルタは選択できません。

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を、目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

4. **［モアレ除去フィルタ］チェックボックスをチェックします。**

チェックOff

チェックOn

ポイント

- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、取り込んだ画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示して確認してください（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため）。
- モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、チェックされていると取り込みに少し時間がかかります。
- モアレ除去の設定は、取り込み画像に適用されます。プレビュー画像には適用されません。
- モアレ除去は、解像度設定が 600dpi より高いときは適用できません。

5. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

以上で、モアレを取り除く調整は終了です。

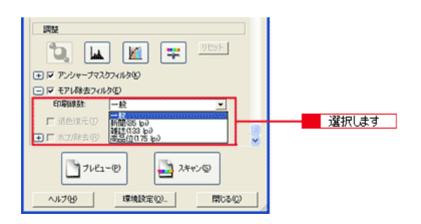
それでもモアレが目立つときは

1. **取り込みモードをプロフェッショナルモードに切り替えます。**

「モードの切り替え方法」23

2. **［印刷線数］の設定を変更します。**

印刷線数を変更すると、モアレが目立たなくなる場合があります。

モアレ除去フィルタの横にある「▷」をクリックして、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。

ポイント

モアレ除去機能を使用すると、取り込んだ画像がややボケる場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタのチェックボックスをチェックしてください。

粒状感を取り除く方法

フィルムの取り込みで発生する画像のざらつきを目立たなくすることができます。フィルムの粒状性やざらつきは、高感度フィルムや、高解像度で取り込んだ画像の、人の肌などで特に目立ちます。

この機能は、プロフェッショナルモードを選択し、原稿種で［フィルム］を選択した場合のみ使用できます。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

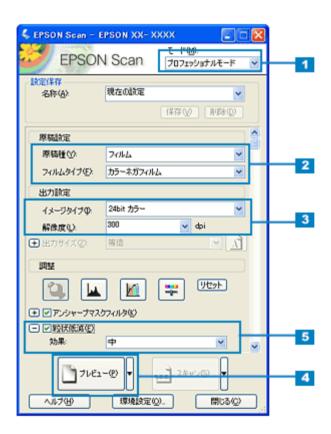
   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］で［フィルム］を選択します。**

   フィルムに合わせて［フィルムタイプ］を選択してください

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **［粒状低減］チェックボックスをチェックします。**

   粒状低減の横にある「▷」をクリックすると、粒状低減の効果を、弱／中／強から選択できます。

   以下のように、粒状性やざらつきが補正されます。

チェックOff

チェックOn

ポイント

- 取り込み領域が小さすぎると、この機能が適切に機能しない場合があります。
- 粒状低減はソフトウェアで処理しますので、チェックされていると取り込みに少し時間がかかります。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

以上で、粒状感を取り除く調整は終了です。

フィルムのゴミを取り除く方法

画像取り込み時に、フィルムまたはガラスに付いているホコリを取り除いて、画像を取り込みます。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。
フィルムをセットする前に、ブロアーなどでフィルムの主なホコリを取り除いておいてください。

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を、目的に合わせて設定します。**

原稿種でポジフィルム、カラーネガフィルムまたは白黒ネガフィルムを選択したときのみ、ここでの調整ができます。出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

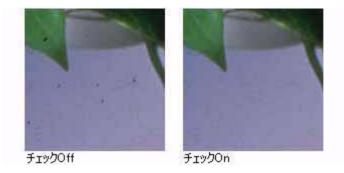
ホコリ除去は、プレビューには適用されません。取り込み後の画像に対してのみ有効です。

4. **［ホコリ除去］チェックボックスをチェックします。**

ポイント

- ホコリ除去を使用すると、解像度によって取り込みに時間がかかります。
- ホコリ程度の大きさの画像は、ホコリと認識されて、消えてしまうことがあります。
- フィルムのホコリの付き具合によっては、思い通りにホコリ除去が機能しない場合があります。その場合は、フィルム、または原稿台のガラス面の異物を取り除いてから取り込んでください。
- 極端に小さなホコリは除去されない場合があります。
- ホコリ程度の大きさの画像が並んでいる場合、ぼかしがかかったようになることがあります。

5. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

以下のように、フィルムの上のホコリが除去されます。

以上で、ホコリ除去の調整は終了です。

色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する方法

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真やフィルムの色あいを、元の色に戻して取り込む方法を説明します。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］で写真、ポジフィルムまたはカラーネガフィルムを選択します。**

   写真、ポジフィルムまたはカラーネガフィルム以外を選択すると、ここでの調整はできません。

3. **［イメージタイプ］を選択します。**

   イメージタイプで［グレー］を選択した場合は使用できません。

4. **［出力設定］を目的に合わせて設定します。**

   出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

6. **［退色復元］チェックボックスをチェックします。**

   以下のように、変色していた原稿が元の色に復元されます。

チェックOff

チェックOn

ポイント

- 変色していない原稿を取り込むときは、この機能を使用しないでください。
- 取り込む画像の絵柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。
- カラーネガフィルムの銘柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

以上で、色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する調整は終了です。

おかしな色かぶりを取り除く方法

画像に照明などの色がかぶっている場合は、グレーバランスを調整することで色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、選択した色を無彩色（白黒またはグレー）にする機能です。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、フィルムの場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を作成します。**

「取り込み枠の調整方法」25
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［ヒストグラム調整］ボタンをクリックします。**

ヒストグラム調整ダイアログボックスが表示されます。

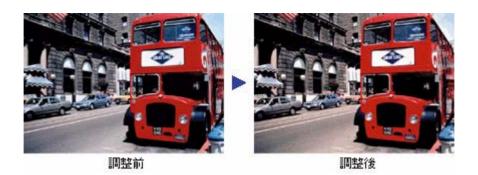
7. **グレーバランス調整の［スポイト］ ボタンをクリックします。**

8. **画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）となるべき部分をクリックします。**

［スポイト］ボタンによる調整をキャンセルしたい場合は、キーボード上の［esc］キーを押してください。

9. **色が変わりすぎてしまった場合は、スライドバーで微調整します。**

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

調整前　調整後

ポイント

グレーバランス調整の範囲は 0 〜 100 **です。**
数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 **に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。**
0 **に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。**

より色鮮やかに取り込む方法

ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、彩度を調整して鮮やかに取り込む方法を説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

   反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、フィルムの場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

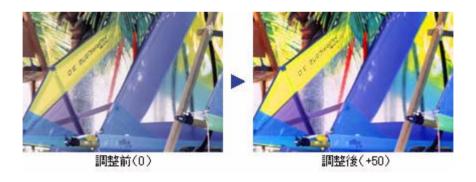
   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

   「取り込み枠の調整方法」25
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ ボタンをクリックします。**

   イメージ調整ダイアログボックスが表示されます。

7. **彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。**

ポイント

設定を -（マイナス）にすると色みがなくなり（無彩色化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にして取り込むことができます。

8. **イメージ調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

以上で、画像の鮮やかさの調整は終了です。

全体的な色あいを変えて取り込む方法

ここでは、天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みを帯びていたり、青っぽいような場合に、色あいを補正して取り込む方法を説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
   反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、フィルムの場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

   「取り込み枠の調整方法」25
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ボタンをクリックします。**

   イメージ調整ダイアログボックスが表示されます。

7. **スライダーを左右に動かして、色あいを調整します。**

シアン－赤	スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。
マゼンタ－緑	スライダを左に動かすとマゼンタが強くなり（緑が弱くなり）、右に動かすと緑が強くなり（マゼンタが弱くなり）ます。
イエロー－青	スライダを左に動かすとイエローが強くなり（青が弱くなり）、右に動かすと青みが強くなり（イエローが弱くなり）ます。

シアン－赤 を調整した場合の例

スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。

設定－　設定＋

8. **イメージ調整ダイアログボックスの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

以上で、画像の全体的な色あいを変える調整は終了です。

EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込む方法（PRINT Image Matching）

メリハリのある画像を印刷するためには、PRINT Image Matching **機能を使用します。**PRINT Image Matching **機能を使用すると、画像の持つ微妙な色あいの情報を画像データ内に保持することができます。**

画像を、PRINT Image Matching **情報を持った形式で保存するには、**EPSON Smart Panel **を使用してください。**EPSON Scan **の単独起動や、**TWAIN **対応アプリケーションソフト を使用した取り込み方法では、**PRINT Image Matching **情報を持った形式では保存できません。**

EPSON Smart Panel **を使用して、**PRINT Image Matching **情報を持った** JPEG**（ジェーペグ）ファイルや** TIFF**（ティフ）ファイルを保存する手順については以下をご覧ください。**
「目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう」107

ポイント

- PRINT Image Matching **の詳細については、以下の項目を参照してください。**
  「PRINT Image Matching **について」**177
- PRINT Image Matching **情報を持ったファイルを印刷するためには、**PRINT Image Matching **に対応した、アプリケーションソフトとプリンタが必要です。**
  「印刷方法」109

原稿に合った設定で取り込もう

文字原稿／線画の取り込みに適した設定

ここでの説明は、OCR（光学文字認識）で利用しやすいように文字原稿の認識率を上げたり、かすれている線画をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。
文字原稿を取り込んでも、文字部分は画像として取り込まれます（文字としては取り込まれません）。

取り込んだ画像を、OCR（光学文字認識）ソフトで認識させると、原稿上の文字を文字データに変換することができます。

ポイント

- 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。
  ・何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
  ・FAX 受信した原稿
  ・文字間や行間が狭すぎる原稿
  ・文字に罫線や下線がかかっている原稿
  ・草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
  ・折り跡やしわがある原稿
  ・本の綴じ込み付近
  ・手書き文字
- 本機には、読ん de!! ココ パーソナル（OCR ソフト）が添付されています。読ん de!! ココ パーソナルからの取り込みでは、EPSON Scan を使わず、OCR ソフト独自の取り込み画面で取り込むことができます。詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（HTML ファイル）をご覧ください。ここでは EPSON Scan を使った取り込み方法を説明します。

文字／線画の取り込み手順

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］、［イメージタイプ］を原稿に合わせて設定します。**

   ［原稿種］リストから［文字／線画］を選択してください。

3. ［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。

4. ［解像度］を設定します。

   ［出力設定］の項目で［その他］を選択し、原稿に最適な解像度を設定してください。

   文字原稿の場合：400dpi
   線画の場合：600dpi
   に設定してください。

5. 取り込み枠を作成します。

   「取り込み枠の調整方法」25

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

7. 文字原稿の場合は、OCR（光学文字認識）ソフトで文字認識を実行します。

   詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（HTML ファイル）をご覧ください。
   認識率がよくない場合は、次の手順へ進んでください。

文字や線画がかすれたりつぶれたりして、認識率がよくない場合は

1. EPSON Scan を起動し直します。

2. ［イメージタイプ］を選択します。

   ［イメージタイプ］は［モノクロ］を選択してください。

3. プレビュー画像で効果を確認しながら、［しきい値］を調整します。

しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

それでも認識率が向上しないときは

しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を使用してください。
また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

カラーのビジネス文書に適した設定

カラーのロゴ・グラフ・イラストなどが入っている書類は、色数を減らして取り込むと、ロゴ・グラフ・イラストなどに色ムラが発生しません。また、取り込んだ画像をフォトレタッチソフトで編集する場合、減色されているため目的の色を簡単に選択できて便利です。

ここでは、原稿の色の分布を解析し、使用頻度の高い 30 色程度に自動減色するカラースムージングを使用し、カラー書類をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

以降の説明は、次の場合には不向きです。

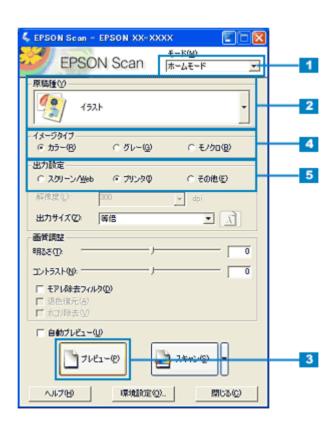
- カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合
- グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合

カラー書類の取り込み手順

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］を選択します。**

   ［原稿種］リストから［イラスト］を選択してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

4. **［イメージタイプ］を選択します。**

   ［イメージタイプ］リストから［カラー］を選択します。原稿種で［イラスト］を、イメージタイプで［カラー］を選択すると、カラースムージングが自動的に適用されます。

ポイント

- カラースムージングの設定は、プレビューには適用されません。スキャンのときにのみ有効です。
- プロフェッショナルモードを使用する場合は、[イメージタイプ] リストから [カラースムージング] を選択してください。

5. **[出力設定] を選択します。**

   [出力設定] の項目で [プリンタ] を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

6. **取り込み枠を作成します。**

   「取り込み枠の調整方法」25

7. **[スキャン] ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

新聞・雑誌の取り込みに適した設定

新聞や雑誌を取り込むと、新聞の白い部分が黄色っぽくなったり、雑誌の裏面が透けて写ることがあります。

ここでは、自動露出を調整し、新聞・雑誌をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

お勧めのモード

- 簡単に新聞の白い部分の黄色みや、雑誌の裏写りを除去したい場合は、ホームモードをお勧めします。
「ホームモードの場合」83
- 雑誌の写真をきれいに取り込んで、裏写りを除去しつつ画質調整をしたい場合は、プロフェッショナルモードをお勧めします。
「プロフェッショナルモードの場合」84

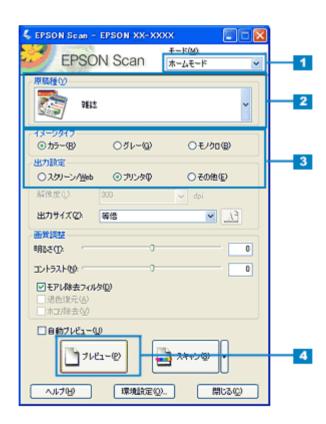
新聞・雑誌の取り込み手順

ホームモードの場合

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿種］を選択します。**

［原稿種］リストから［雑誌］または［新聞］を選択します。
［雑誌］または［新聞］を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。

3. **［イメージタイプ］、［出力設定］を設定します。**

原稿に合わせて、［イメージタイプ］を選択し、［出力設定］の項目で［プリンタ］を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。

5. 取り込み枠を作成します。

「取り込み枠の調整方法」25

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

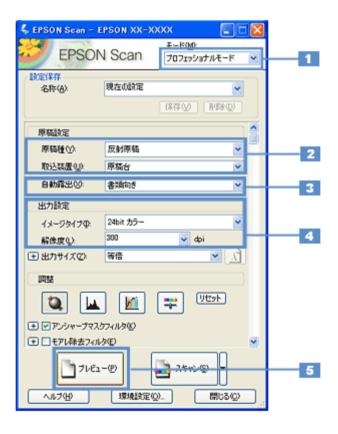
通常は、［原稿種］で［雑誌］または［新聞］を選択すると、［モアレ除去フィルタ］のチェックボックスが、自動的にチェックされます。モアレ除去機能が必要でない場合は、チェックを外してください。

プロフェッショナルモードの場合

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」17

2. ［原稿種］を目的に合わせて選択します。

［原稿種］で［反射原稿］を選択してください。

3. 自動露出を選択します。

［自動露出］で［書類向き］を選択してください。
［書類向き］を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。

4. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

6. 取り込み枠を作成します。

「取り込み枠の調整方法」25

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

便利な取り込み方法

原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう

本機の原稿台よりも大きな原稿を分割して取り込み、フォトレタッチソフトで合成する方法を説明します。

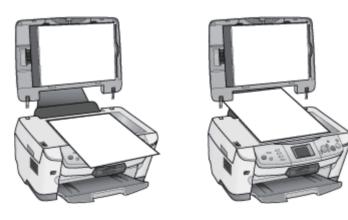
ポイント
- 取り込む原稿としては、パンフレットやポスターなどの一枚紙の原稿を使用してください。雑誌などの製本物は、分けて取り込むときに角度がずれてしまうのでうまく取り込めません。
- ここでは、市販の Adobe Photoshop Elements 2.0 を使って説明します。
- ここで説明している内容は、仕様として保証するものではありません。ここで説明している手順で取り込みと貼り合わせをしても、分割して取り込んだ画像の明るさや色あい、角度などは完全には一致しない場合があります。

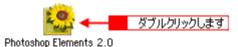
分割して取り込む方法

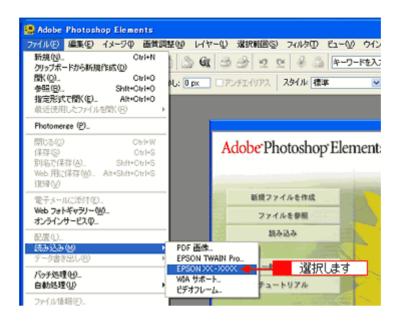
原稿のおよそ半分を取り込む

1. **原稿をセットします。**

   原稿のおよそ半分を原稿台にセットします。

ポイント
分けて取り込むときには一回目、二回目とも、原稿台のスケールに合わせる辺が一致するようにセットしてください。

2. **Adobe Photoshop Elements2.0 を起動します。**

   ［ハードディスク］-［アプリケーション］（Applications）フォルダ -［Adobe Photoshop Elements 2］フォルダ -［Adobe Photoshop Elements 2.0］をダブルクリックして起動します。

3. EPSON Scan を起動します。

Adobe Photoshop Elements 2.0 の［ファイル］メニュー -［読み込み］-［EPSON PM-A850］を選択してください。
EPSON Scan が起動します。

4. プロフェッショナルモードを選択します。

［モード］のプルダウンメニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

通常表示でプレビューしてください。

ポイント

取り込み枠を作成しないで、全面を取り込んでから、フォトレタッチソフトで選択したい部分を切り抜いてください。または、取り込み枠を作成する場合は、少し大きめに作成してください。これは、取り込んだ画像を貼り合わせる際に、画像の欠落がないように、ゆとりをもたせるためです。

6. 必要に応じて［お勧めの調整方法］を参照して、一通り画質の調整を行います。

「お勧めの調整方法」51

7. 設定を保存します。

原稿の半分の設定（取り込み枠、イメージタイプ、解像度、画質などすべての設定）に名前を付けて保存します。
設定保存の［名称］欄に、新規名称を入力して、［保存］ボタンをクリックしてください。入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みます。

   画像が新規ファイルとして表示されます。

以上で、原稿のおよそ半分の取り込みは終了です。次に残りのおよそ半分を取り込んでみましょう。

残りのおよそ半分を取り込む

1. 原稿をセットしなおします。

   残りのおよそ半分を原稿台にセットしてください。このとき、すでに取り込んだ画像の部分を少し含めてセットすると、貼り合わせやすくなります。

2. プレビューします。

   すでに取り込んだ画像と同じ手順でプレビューしてください。

3. ［設定保存］の名称リストでさきほど保存した名称を選択します。

4. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みます。

   画像が新規ファイルとして表示されます。

5. EPSON Scan を終了します。

   ［閉じる］ボタンをクリックして、EPSON Scan を終了します。

以上で、原稿取り込みは終了です。次にアプリケーションソフトでふたつの画像を貼り合わせてみましょう。

画像を貼り合わせる

1. カンバスサイズを指定します。

   取り込んだ画像のどちらかの画像をクリックして、［イメージ］－［サイズ変更］－［カンバスサイズ］をクリックします。
   ダイアログの下側にあるマス目のような項目は、カンバスサイズを広げたときに、現在の画像をどの位置に配置するかを決めるものです。
   例えば、現在の画像を右側に配置して、左側に画像を貼り付けたい場合は、下図のように設定します。
   画像を横に追加する場合は幅の値を、画像を縦に追加する場合は高さを約 2 倍以上に指定してください。

2. **画像を貼り合わせます。**

移動ツールを選択して、カンバスサイズを広げた画像に、もう片方の画像をドラッグしてください。
2 つの画像が貼り合わされるので、移動ツールで微調整してください。

この後は、画像を統合して、必要な部分を切り抜いて保存してください。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

貼り合わせた画像

複数の原稿を連続スキャンして取り込もう

TWAIN 対応アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動して複数の領域を取り込む場合は、画像をひとつずつ保存しなければなりません。
EPSON Scan を単独起動した場合、取り込んだ画像は自動的にファイル名を付けて保存されます。

ここでは、ホームモードを例に複数の領域を指定して一気に取り込む方法を説明します。

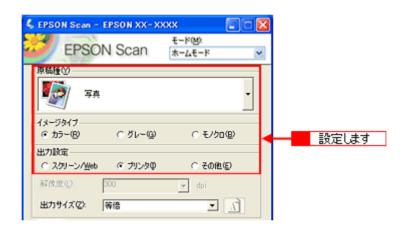
複数の領域を指定して一気に取り込む

1. **EPSON Scan を単独で起動し、ホームモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［イメージタイプ］、［出力設定］を、目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

3. **プレビューします。**

［プレビュー］ボタン右にある縦長の（ ）ボタンをクリックし、［サムネイル表示］または［通常表示］を選択します。
［プレビュー］ボタンをクリックします。

4. **取り込みたい複数のコマ、または領域を選択します。**

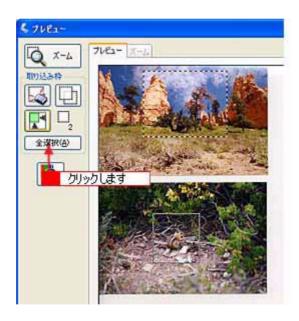
サムネイル表示の場合

プレビューされた画像の一覧から、取り込まないフィルムのチェックを外します。

通常表示の場合

取り込みたい領域を選択してください。

「取り込み枠の調整方法」25

5. **通常表示の場合は、取り込み枠をすべて作成し、［全選択］ボタンをクリックしてください。**

6. **［スキャン］ボタンをクリックします。**

   ［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されます。

7. **表示された［保存ファイルの設定］ダイアログボックスで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。**

   ［保存ファイルの設定］ダイアログボックスでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

8. ［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

フィルムをインデックス画像として取り込もう

たくさんのフィルムを整理する場合、インデックス画像として保存しておくと便利です。ここでは、プロフェッショナルモードを例にインデックス画像の作り方を説明します。

ポイント

サムネイル表示と通常表示のメリット
プロフェッショナルモードでは、プレビューウィンドウは、サムネイル表示と通常表示があります。サムネイル（インデックス）を作る場合のそれぞれのメリットは以下のとおりです。

- サムネイル表示：任意のコマまたは複数のコマを一括で回転し、天地を揃えて取り込むことができます。
- 通常表示：取り込み枠をコピーできます。

サムネイル表示は 35mm フィルムでのみ表示できます。そのほかのフィルムの場合は通常表示でプレビューしてください。

インデックスを作る方法（サムネイル表示の場合）

1. **EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」17

単独起動の場合、取り込んだ画像は自動的にファイル名を付けて保存されるので便利です。インデックスを作成するときは、取り込み作業を繰り返すので単独起動をお勧めします。

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

［原稿種］は［フィルム］を選択してください。
［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。

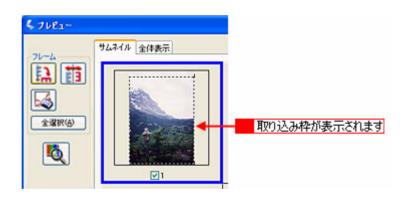
3. **解像度を 96 〜 150dpi 程度に設定します。**

4. **サムネイル表示でプレビューします。**

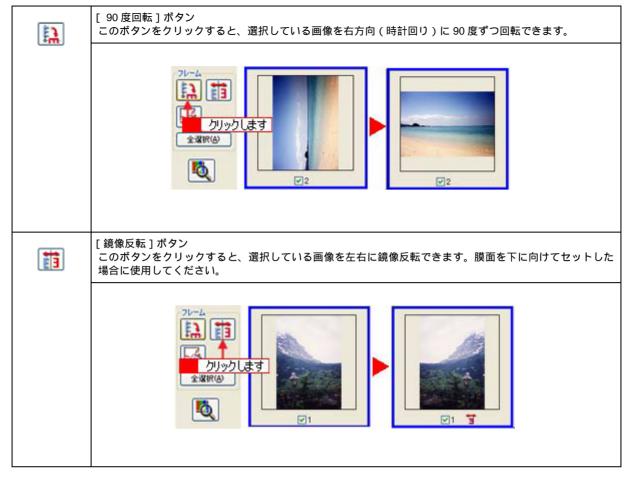
［プレビュー］ボタンの右にある縦長の（ ）ボタンで、［サムネイル表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

5. **必要に応じて、プレビューされた画像の一覧から、取り込まないフィルムのチェックを外します。**

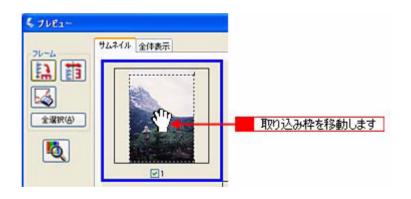
6. ［出力サイズ］を選択します。

［出力サイズ］リストで、［サムネイル (80X120)］を選択してください。
現在選択されているコマに、取り込み枠が表示されます。

こんなときは

- サムネイルを選択すると、80X120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。
- サムネイルの方向を変更したい場合は、［90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンを使用してください。［全選択］ボタンをクリックしてから、［90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンをクリックすると、すべてのコマの向きを一括で変えられます。

	[90 度回転］ボタン このボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
	［鏡像反転］ボタン このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。膜面を下に向けてセットした場合に使用してください。

7. **取り込み枠の大きさを変更して、移動します。**

取り込み枠の大きさをドラッグして変更します。
「取り込み枠の調整方法」25

作成した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面上の［取り込み枠消去］ボタン を使って削除してください。

8. **手順 6 と 7 を取り込みたいコマ分繰り返します。**

9. **［スキャン］ボタンをクリックします。**

［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されます。

10. **表示された［保存ファイルの設定］ダイアログボックスで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。**

［保存ファイルの設定］ダイアログボックスでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

ポイント

- **後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。**
- **保存形式は、圧縮形式の JPEG （拡張子：jpg ）をお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、用途によっては、JPEG 以外の形式で保存してください。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。**

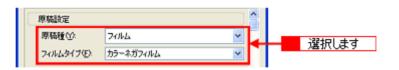
11.［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

サムネイルを作る方法（通常表示の場合）

1. EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」17

2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

［原稿種］は［フィルム］を選択してください。
［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。

3. 解像度を 96 〜 150dpi 程度に設定します。

4. 通常表示でプレビューします。

［プレビュー］ボタンの右にある縦長の（ ）ボタンで、［通常表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

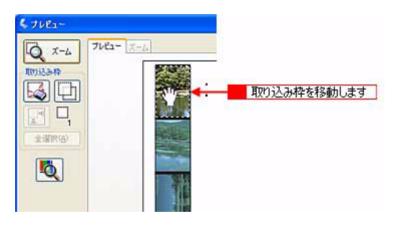
5. ［出力サイズ］を選択します。

［出力サイズ］リスト、［サムネイル (80X120)］を選択してください。
取り込み枠が表示されます。

こんなときは

サムネイルを選択すると、80X120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。

6. **取り込み枠の大きさを変更して、移動します。**

取り込み枠の大きさをドラッグして変更し、取り込みたいコマの上に移動します。
「取り込み枠の調整方法」25

7. **取り込み枠を、取り込みたいコマ分コピーします。**

プレビュー画面左上のボタンを使って、作成した取り込み枠をコマ分コピーして移動してください。

作成した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面左上のボタンを使って削除してください。

8. ［全選択］ボタンをクリックします。

9. ［スキャン］ボタンをクリックします。

［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されます。

10. 表示された［保存ファイルの設定］ダイアログボックスで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。

［保存ファイルの設定］ダイアログボックスでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

ポイント
- 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

- 保存形式は、圧縮形式の JPEG （拡張子：jpg ）をお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータへは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、用途によっては、JPG 以外の形式で保存してください。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

11. ［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

最高画質で取り込もう

ここでは、プロフェッショナルモードでの設定を例に、本機の最高解像度で取り込む場合の設定を説明します。

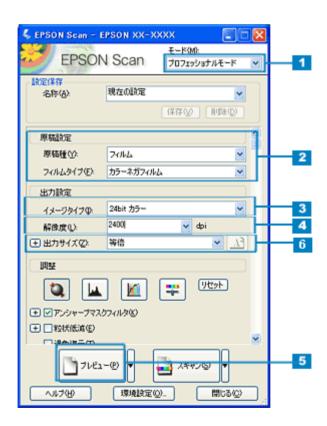
ポイント

- 解像度を数千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限などにより、取り込み可能サイズに制限が生じます。そのため、エラーメッセージが表示され、取り込みができない場合があります。設定可能な解像度は、原稿、本機の接続方法、ご使用の環境によって異なります。
- 基本的には、解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上しますが、インクジェットプリンタでの印刷を目的として取り込む場合などは、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
  取り込み時の解像度と印刷解像度の関係・目安については、以下をご覧ください。
  「印刷サイズと解像度の関係」185

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」17

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
   反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、フィルムの場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］を選択します。**

4. **解像度を選択します。**

   解像度リストから［2400］dpi を選択してください。

ポイント

A4 サイズの反射原稿などでは、2400dpi では取り込めません。これは、A4 サイズのような大きな原稿で 2400dpi を指定すると、データ容量が約 1.6GB にもなってしまう上に、データ転送の規格上の制限などが生じるためです。
2400dpi、4800dpi といった高解像度は、サイズが比較的小さなフィルムを取り込むために搭載しているものですので、サイズが大きな反射原稿を取り込む際には、使用目的に沿った解像度を指定してください。
取り込み時の解像度と印刷解像度の関係について以下をご覧になり、最適な指定を行ってください。
「印刷サイズと解像度の関係」185

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

6. ［出力サイズ］の設定が［等倍］になっていることを確認します。

そのほかの設定になっている場合は、［等倍］を選択してください。

ポイント

手順 4 で設定した解像度は、出力解像度（取り込み後の画像の解像度）です。スキャナからの入力解像度を設定した解像度と一致させたい場合は、［出力サイズ］を必ず［等倍］に設定してください。［等倍］以外を選択すると、入力解像度と出力解像度が一致しません。

7. 取り込み枠を指定します。

「取り込み枠の調整方法」25
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

取り込んだ画像の活用方法

画像を活用する場合のおすすめの方法

取り込んだ画像を活用したい、そんなときには EPSON Smart Panel を使ってみましょう。目的に合ったアイコンをクリックするだけで、いろいろな活用が楽しめます。

操作パネルのボタンを押すと EPSON Smart Panel のメイン画面が表示されます。EPSON Smart Panel では、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。
操作パネルのボタンを押しても EPSON Smart Panel が起動しない場合は以下をご覧ください。
「本体のスキャナ関連ボタンを押しても動作しない」134

こんなことができます

EPSON Smart Panel を使うと、DPE、コピー、OCR（光学文字認識）、E メールなどの機能が使え、素早く簡単な操作で最適な結果を得ることができます。EPSON Smart Panel の機能については、以下をご覧ください。

アイコン	機能
DPE	EPSON Easy Photo Print を起動します。写真を取り込んで簡単に焼き増し印刷できます。 「写真やフィルムの焼き増しをしよう」105
ファイル保存	取り込んだ画像を任意の形式に変換して、画像やテキストを指定したフォルダに保存します。 また、本機のプリンタの色空間をできる限り活かして写真プリントできるよう、PRINT Image Matching 情報を付加した JPEG ファイル または TIFF ファイルを作成します。 「目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう」107 ※ PRINT Image Matching 情報を有効にして印刷するには、本機に添付の PhotoQuicker などの PRINT Image Matching 対応のアプリケーションソフトを使用する必要があります。PRINT Image Matching については、以下をご覧ください。 「PRINT Image Matching について」177
コピー	コピーユーティリティを起動します。取り込んだ画像をコピーできます。 「書類や原稿をコピーしよう」113
コピーFax	ファックスユーティリティを起動します。画面に従って操作するだけで、FAX 送信をコンピュータ上で行うことができます。 「書類や原稿を FAX しよう」115
OCR	OCR ソフト（読ん de!! ココ パーソナル）を起動します。文字原稿を取り込んで、原稿上の文字形状を文字と認識してテキストデータに変換できます。 「原稿の文字を修正しよう」117

アイコン	機能
写真で作る	PhotoImpression を起動します。取り込んだ画像を使って、カードやカレンダーを作成できます。 「お好きな画像でカードやカレンダーを作ろう」120
アプリケーション	画像取り込み後、選択したアプリケーションソフトを起動します。取り込んだ画像を、起動したアプリケーションソフトで自由に使用できます。対応アプリケーションソフトについては、エプソンのホームページをご覧ください。(http://www.i-love-epson.co.jp) 「お好きなアプリケーションに取り込もう」122
Eメール	E メールソフトを起動します。画面に従って操作するだけで、画像をメールに添付して送ることができます。 対応メールソフトについては、エプソンのホームページをご覧ください。(http://www.i-love-epson.co.jp) 「画像を E メールで送ろう」124
Web	取り込んだ画像をPRINT Image Matching機能を使ってJPEG形式に変換し、Webにアップロードします。 「画像をインターネットで公開しよう」126

写真やフィルムの焼き増しをしよう

写真として印刷するのに適した設定で原稿を取り込み、印刷することができます。
DPE の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

ポイント

モノクロネガフィルムの場合、DPE 機能は使用できません。

1. **操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［DPE］ボタンをクリックします。**

   以下のダイアログが表示されます。

1	入出力先	写真の取り込みを行うスキャナ、印刷をするプリンタを選択します。	
		スキャナ	お使いのスキャナが選択されます。
		プリンタ	［プリンタ］ボタンをクリックするとプリンタドライバ一覧を表示します。
2	プレビュー	設定した内容に応じた印刷イメージをプレビュー画面に表示します。	

3	詳細設定	DPE で取り込み〜印刷する用紙の種類・サイズの、以下の項目を設定します。	
		原稿	取り込み原稿の種類を選択します。
		用紙	印刷する用紙の種類とサイズを選択します。
		写真サイズ	印刷するサイズを選択します。
		写真枚数	印刷する枚数を指定します。
		退色復元	クリックすると、昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色してしまった古い写真やフィルムの色あいを、元の色に戻すことができます。取り込む画像によっては、この機能は適切に機能しない場合があります。
4	［印刷］ボタン	写真を取り込み、印刷を実行します。	

目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう

ファイル保存では、取り込んだ画像を任意のファイル形式に変換して、テキストや画像をフォルダに保存することができます。
PRINT Image MatchingII に対応していますので、PRINT Image Matching 機能を使用した JPEG 形式または TIFF 形式に変換します。また、被写体に応じた最適な効果を設定して、画像をフォルダに保存できます。
保存したファイルは、PRINT Image Matching 対応のプリンタで印刷できます。効果が得られるのは、印刷時（PRINT Image Matching 対応プリンタから印刷したとき）のみで、画面表示しても効果は確認できません。

ポイント

- PRINT Image Matching の詳細については、以下の項目を参照してください。
  「PRINT Image Matching について」177
- 「Web」でも、PRINT Image Matching 情報を持った JPEG ファイルを保存することができます。
  「画像をインターネットで公開しよう」126

1. **操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［ファイル保存］ボタンをクリックします。**

   以下の画面が表示されます。

1	ファイルパス	ファイルの保存先を表示します。［参照］ボタンをクリックして、保存先を選択することもできます。日付名のサブフォルダを作成することもできます。
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。ファイル名は、文字列＋ 4 桁の番号になりますので、文字列と開始番号を設定してください。初期設定では、File0001、File0002、File0003… となります。

3	画像形式	保存する際のファイル形式を選択します。 PRINT Image Matching 機能対応の JPEG、TIFF 形式も指定できます。TIFF 形式では圧縮による画像劣化のない、より高画質なプリントができます。 画像の圧縮率を設定できます。圧縮するとファイルサイズは小さくなりますが、画像が劣化します。 また、［フォトタイプ］でシーンに応じた項目を選択すると、取り込んだ画像がフォトタイプに合わせて補正され、より見栄えの良い印刷結果が得られるようになります。 ただし、複数の画像を連続取り込み・保存する場合、ファイル１つ１つに異なる設定をすることはできません。［標準］か［なし］を選択するか、同じシーンの画像ごとにまとめて取り込むことをお勧めします。 ［フォトタイプ］補正効果については以下の通りです。 • なし：補正は行いません。 • 標準 : 一般的なシーン全般で効果を与えます。 • ポートレート : 人肌を明るく、ソフトな印象に仕上げます。 • 風景 : 空や緑の印象を強め、鮮やかな風景写真に仕上げます。 • 夕景 : 夕日の色をより印象的にします。 • 夜景 : 全体はやや暗めに、光などの明るい部分は彩度とシャープネスをやや高めます。 • 花 : やや明るくソフトに、色鮮やかに仕上げます。 • 接写 : コントラストとシャープネスを高め、すっきりとした印象に仕上げます。 • スポーツ : 動きのある被写体のコントラスト、シャープネス、彩度を高め、印象を強めます。 • 逆光 : 逆光により対象物が暗く写ってしまった写真を明るく補正します。 • 紅葉 : 紅葉をより鮮やかな印象にします。 • 記念写真 : やや明るく、シャープネスを高め、はっきりしたスナップショットに仕上げます。
4	［画像をスキャンし確認］ボタン	スキャン画像のオプションを設定して、保存します。
5	［画像をスキャンし保存］ボタン	設定された値に従って、ファイルを保存します。

3. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認／保存します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	［保存］ボタン	設定に従って、ファイルを保存します。

保存した画像は、EPSON PhotoQuicker を使用して印刷できます。PhotoQuicker は、PRINT Image Maching 情報を持った画像ファイルを印刷することのできるアプリケーションソフトです。

印刷方法

本製品に同梱のソフトウェア、EPSON PhotoQuicker をお使いください。

PRINT Image Matching 機能を使用するときは、スキャナ、プリンタ、アプリケーションソフトが、PRINT Image Matching に対応している必要があります。

印刷手順

EPSON PhotoQuicker で写真データを読み込みます。後は、印刷したい画像を指定するだけで簡単に印刷できます。

この後の画面は、Windows XP を例にしています。

1. 写真を読み込みます。

［フォルダ］ボタンをクリックして、写真を保存しているフォルダを選択します。

2. **印刷する写真を選びます。**

印刷する写真をクリックし、印刷枚数を設定して、［すすむ］ボタンをクリックします。

ポイント

［写真編集］ボタンをクリックすると、［写真編集］画面が表示され、写真の補正と調整ができます。

3. **用紙サイズとレイアウトを選択します。**

使用するプリンタ名が画面右上に表示されていることを確認し、プリンタにセットした用紙サイズと印刷したいレイアウトを選択して、［すすむ］ボタンをクリックします。

お使いのプリンタによって、選択できる用紙サイズとレイアウトは異なります。

4. **用紙種類を選択して、印刷を実行します。**

プリンタにセットした用紙の種類を選択して、［プリント］ボタンをクリックします。
写真の印刷が始まります。

お使いのプリンタによって、選択できる用紙種類は異なります。

以上で、EPSON PhotoQuicker での基本的な印刷方法の説明は終了です。

- 「写真編集」画面で、Exif Print 機能 /PRINT Image Matching 機能の有効 / 無効を選択できます。

- EPSON PhotoQuicker を使用せず､PRINT Image Matching 未対応の一般のレタッチソフトから印刷する場合には､PRINT Image Matching 機能はご利用になれません｡
  また､PRINT Image Matching 未対応の一般のレタッチソフトで保存したものを EPSON PhotoQuicker で読み込んで印刷する場合も､PRINT Image Matching 機能はご利用になれません｡

◆◆ EPSON PhotoQuicker の詳しい使い方◆◆
EPSON PhotoQuicker オンラインヘルプをご覧ください｡

書類や原稿をコピーしよう

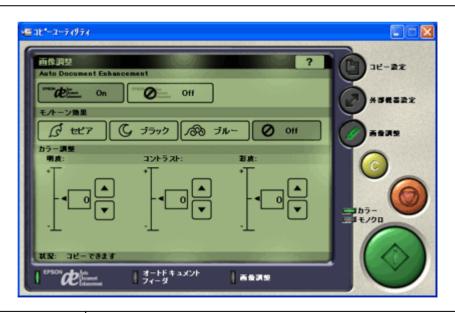
スキャナとプリンタを使用してコピーをすることができます。
コピーユーティリティの詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

1. 操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2. EPSON Smart Panel の［コピー］ボタンをクリックします。

   以下のダイアログが表示されます。

1	原稿タイプ	コピーを行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。	
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。	
		プリセット	あらかじめ設定してある拡大 / 縮小率を指定できます。
		マニュアル	拡大 / 縮小率を手動で設定できます。
3	出力機器	コピーの出力先（プリンタ）が表示されます。	
4	出力機器設定	コピー出力を行う用紙の種類とサイズが表示されます。	
5	［コピー設定］ボタン	コピーに必要な基本的な設定を実行する画面を表示します。上に表示されている画面が、「コピー設定」画面です。	

<table>
<tr><td rowspan="6">6</td><td rowspan="6">［外部機器設定］ボタン</td><td colspan="2">このボタンをクリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面では、入力機器と出力機器の設定をします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>入力機器</td><td>EPSON Smart Panel で設定されている入力機器が選択されます。</td></tr>
<tr><td>入力カラー</td><td>原稿取り込みの色を「カラー」「モノクロ」のどちらかを選択できます。</td></tr>
<tr><td>出力機器</td><td>コピーの出力先（プリンタ）を選択できます。</td></tr>
<tr><td>印刷プロパティ</td><td>選択したプリンタの設定画面を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">7</td><td rowspan="5">［画像調整］ボタン</td><td colspan="2">このボタンをクリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面では、取り込む原稿の色補正を設定できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>Auto Document Enhancement</td><td>画像の濃淡を判断するしきい（白黒の境）値を自動的に調整する機能を「On」「Off」のどちらかから選択できます。</td></tr>
<tr><td>モノトーン効果</td><td>取り込む原稿の色調を「セピア」「ブラック」「ブルー」「Off」から選択できます。</td></tr>
<tr><td>カラー調整</td><td>取り込む原稿の「明度」「コントラスト」「彩度」を調整できます。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>［クリア］ボタン</td><td colspan="2">クリックすると設定値を初期値に戻します。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>［中止］ボタン</td><td colspan="2">コピーの開始後に、クリックするとコピーを中止します。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>［コピー］ボタン</td><td colspan="2">コピーを開始するボタンです。</td></tr>
</table>

書類や原稿を FAX しよう

［コピー Fax］ボタンをクリックすると、以下のようなコピーダイアログが表示されます。このダイアログでコピーを実行すると、Fax ダイアログが表示されます。Fax ダイアログで、Fax の設定をして送信します。
コピー Fax 機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

ポイント

［コピー Fax］機能を使用するためには、お使いのコンピュータに FAX ソフトウェアがインストールされていている必要があります。

1. **操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［コピー Fax］ボタンをクリックします。**

   以下のダイアログが表示されます。

1	原稿タイプ	Fax を行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。	
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。	
		プリセット	あらかじめ設定してある拡大 / 縮小率を指定できます。
		マニュアル	拡大 / 縮小率を手動で設定できます。
3	出力機器	Fax の出力先（プリンタ）が表示されます。	
4	出力機器設定	コピー Fax 機能では使用しません。	
5	［コピー設定］ボタン	Fax に必要な基本的な設定を実行する画面を表示します。上に表示されている画面が、「コピー設定」画面です。	

No.	名称	項目	説明
6	［外部機器設定］ボタン	このボタンをクリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面では、入力機器と出力機器の設定をします。	
		入力機器	EPSON Smart Panel で設定されている入力機器が選択されます。
		入力カラー	原稿取り込みの色を「カラー」「モノクロ」のどちらかを選択できます。
		出力機器	Fax の出力先を選択できます。
		印刷プロパティ	選択した Fax アプリケーションの設定画面を表示します。
7	［画像調整］ボタン	このボタンをクリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面では、取り込む原稿の色補正を設定できます。	
		Auto Document Enhancement	画像の濃淡を判断するしきい（白黒の境）値を自動的に調整する機能を「On」「Off」のどちらかから選択できます。
		モノトーン効果	取り込む原稿の色調を「セピア」「ブラック」「ブルー」「Off」から選択できます。
		カラー調整	取り込む原稿の「明度」「コントラスト」「彩度」を調整できます。
8	［クリア］ボタン	クリックすると設定値を初期値に戻します。	
9	［中止］ボタン	Fax の開始後に、クリックするとコピーを中止します。	
10	［コピー］ボタン	Fax を開始するボタンです。	

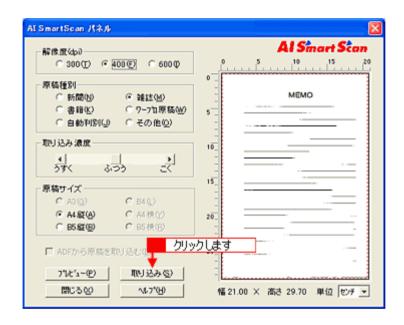
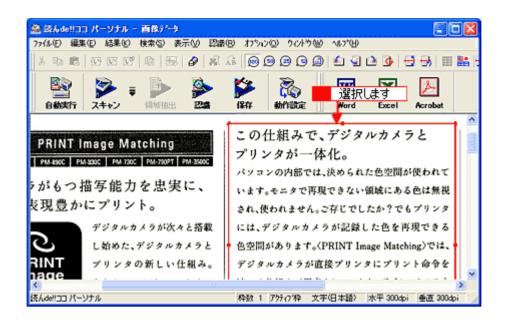
原稿の文字を修正しよう

原稿上の文字をテキストデータとして取り出すことができます。ここでは、手順の概要を説明します。詳細は、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（HTML）またはヘルプを参照してください。

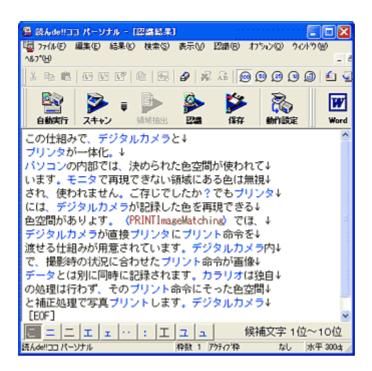
文字認識の流れ

1. **操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**
2. **EPSON Smart Panel の［OCR］ボタンをクリックします。**

   読ん de!! ココ パーソナルが起動します。
3. **以下の画面が表示されるので［取り込み］ボタンをクリックします。**

   以下の画面が表示されない場合は、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

4. **文字認識させる部分を選択します。**

5. ［認識］メニューをクリックし、［認識実行］をクリックします。

6. 認識結果の微調整をします。必要に応じて保存します。

［Acrobat］のボタンをクリックすると、Adobe Acrobat にデータを転送して保存することができます。

以上で、読ん de!! **ココ パーソナルを使用した文字認識の操作説明は終了です。**

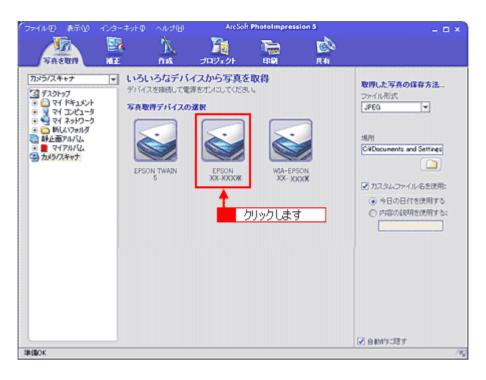
お好きな画像でカードやカレンダーを作ろう

取り込んだ画像を、カードやカレンダーが簡単操作で作成できる PhotoImpression で利用できる状態にします。カード、カレンダー機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

1. 操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。
2. EPSON Smart Panel の［写真で作る］ボタンをクリックします。

   PhotoImpression が起動します。
3. ［ファイル］メニュー -［写真の取得］をクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、［カメラ / スキャナ］をクリックします。

5. ［EPSON PM-A850］をクリックします。

6. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

7. **PhotoImpression を使って編集します。**

   PhotoImpression **の詳細については、ヘルプを参照してください。ヘルプは、**PhotoImpression **の画面上から起動することができます。**

お好きなアプリケーションに取り込もう

取り込んだ原稿をどのアプリケーションソフトで利用するかを選択することができます。
アプリケーション機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

対応しているアプリケーションソフト

対応しているアプリケーションソフトについて詳しくは、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）でご確認ください。

1. **操作パネルのボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［アプリケーション］ボタンをクリックします。**

3. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。

8	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（アプリの起動）へ進みます。

5. **アプリケーションソフトを起動します。**

1	アプリケーションリスト	編集可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示します。
2	［設定］ボタン	このボタンをクリックすると、アプリケーションソフトを登録したり、選択したアプリケーションソフトにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定したり、登録したアプリケーションの削除をすることができます。また、アプリケーションソフトリスト（インデックス）に登録されているアプリケーションソフトの順序を変更することができます。
3	［アプリケーションを検索する］ボタン	このボタンをクリックすると、再度画像編集可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したアプリケーションソフトが起動し、取り込んだ画像を編集できるようにします。

画像を E メールで送ろう

選択した画像を、メールソフトに自動的に添付することができます。E メール機能の詳細は、[？] ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。
対応メールソフトについては、エプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp）

1. **本機の操作パネルの［スキャン］ボタンを押して、スキャナモードにします。**

2. **操作パネルのボタンで「Scan to E メール」を選択し、[OK] ボタンを押します。**

3. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、次のステップ（アプリの起動）へ進みます。

メール送信

1	電子メールシステムリスト	電子メール送信可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示します。
2	［設定］ボタン	このボタンをクリックすると、電子メールシステムリストの並び順を変更したり、電子メールアプリケーションソフトにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定することができます。
3	［アプリケーションを検索する］ボタン	このボタンをクリックすると、再度電子メール送信可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	このボタンをクリックすると、選択した電子メールアプリケーションソフトが起動し、取り込んだ画像が自動的に新規メールに添付され、文字入力待ち状態になります。

ポイント

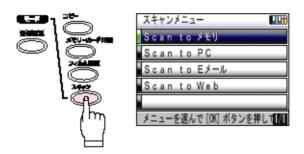
メールを送信する前に、ファイルサイズを確認してください。ファイルサイズが大きすぎる場合は、［設定］ボタンをクリックして、サイズを小さくしてください。

画像をインターネットで公開しよう

インターネット上で使用するのに適した解像度とファイル形式で画像を取り込み、指定のサイトにアップロードすることができます。また、PRINT Image Matching 機能を使用して、保存するファイルに色空間情報を付加します。Web 機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは手順と機能の概要を説明します。

ポイント

- PRINT Image Matching の詳細については、以下の項目を参照してください。
  「PRINT Image Matching について」177
- 「EPSON Photo Album」では、会員登録（無料）を行うだけで、誰でもインターネット上で画像を公開することができます。「EPSON Photo Album」を使用するには、事前に「MyEPSON」への登録が必要になります。詳しくは、デジタル写真総合サイト EPSON PHOTO GARDEN （http://www.photogarden.jp）をご覧ください。

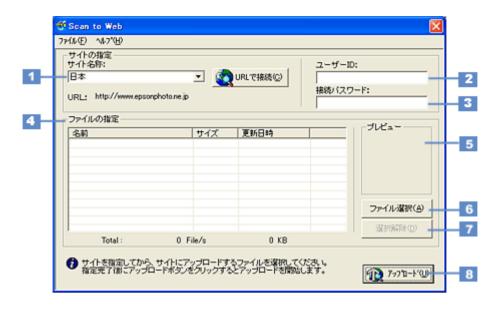
1. 本機の操作パネルの［スキャン］ボタンを押して、スキャナモードにします。

2. 操作パネルのボタンで「Scan to Web」を選択し、[OK] ボタンを押します。

3. スキャナが画像の取り込みを開始します。

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルで次のステップ（Scan to Web）へ進みます。

5. **取り込んだ画像をアップロードします。**

1	サイト名称	取り込んだ画像をアップロードするサイト (EPSON Photo Album) を選択します。
2	ユーザー ID	サイトに接続するときのユーザー ID を入力します。
3	接続パスワード	サイトに接続するときのパスワードを入力します。
4	ファイルの指定	サイトにアップロードするファイルを表示します。ファイル名、ファイルサイズ、更新日時がそれぞれ表示されます。
5	プレビュー	リスト上で選択されているファイルの縮小イメージ（サムネイルイメージ）を表示します。 複数ファイルが選択されているときは、最上位のファイルを表示します。
6	［ファイル選択］ボタン	このボタンをクリックすると、コンピュータに保存されている画像ファイルをリストに登録することができます。
7	［選択解除］ボタン	このボタンをクリックすると、リスト上のファイル選択を解除できます。
8	［アップロード］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルをサイトにアップロードします。

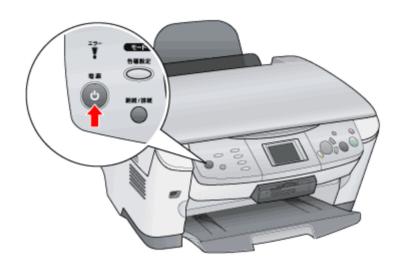
ポイント

- ［アップロード］ボタンをクリックすると、アップロード先のサイト（URL）と［キャンセル］ボタンが表示されます。
- アップロードが完了すると、アップロードを実行する前の画面に自動的に戻ります。

トラブル対処方法

本体の動作確認

本機の電源ボタンを押して、液晶ディスプレイが表示されているか確認してください。
本機が動かない場合や、液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は、以下の項目をご覧ください。

「電源がオンにならない」130
「電源をオンにすると、ガタガタと音がする / エラーランプが点灯した」131

電源がオンにならない

電源ボタンを押しても本機が動作しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本機の故障が考えられます。

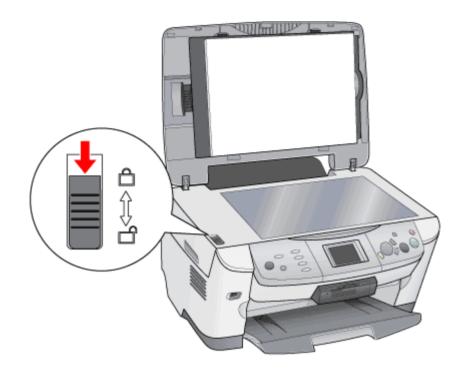
ポイント

以上の２点を確認しても電源が入らない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

電源をオンにすると、ガタガタと音がする / エラーランプが点灯した

チェック

輸送用固定レバーがロックされた状態になっていませんか？

電源ボタンを押して電源をオフにしてから、原稿台の横にある輸送用固定レバーを の位置にしてください。

チェック

本機とコンピュータが正しく接続されていますか？

USB ケーブルが、本機とコンピュータにしっかり接続されているかを確認してください。

ポイント

以上の項目を確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

スキャナとして認識されない

コンピュータが本機をスキャナとして認識しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

ご利用のコンピュータは Mac OS 8.6 から 9.x または Mac OS X 10.2 以上ですか？

- 本機は Mac OS 8.6 から 9.x または Mac OS X 10.2 以上で使用できます。
- 本機は Mac OS X Classic 環境での動作はサポートしておりません。
- Mac OS X の UNIX ファイルシステム（UFS 形式）はサポートしておりません。他のドライブでお使いください。

チェック

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、『セットアップガイド（シート）』をご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

取り込みに時間がかかる

取り込みに時間がかかる。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

画像を高解像度で取り込む設定にしていると、取り込みに時間がかかります。解像度を下げて、画像を取り込んでください。
適切な解像度がわからないときは、［全自動モード］で取り込んでください。
「解像度について」184

チェック

フィルムを取り込んでいませんか？

フィルムの取り込みでは複雑な画像変換処理が必要なため、反射原稿より時間がかかります。

本体のスキャナ関連ボタンを押しても動作しない

操作パネルのボタンを押してもアプリケーションソフトが何も起動しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

電源がオフになっていると、操作パネルのボタンを押しても動作しません。電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。

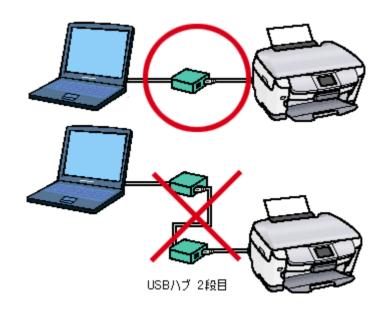
チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

USB ハブをお使いの場合、ハブは 1 段目に接続していますか？

- 本機を USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合は、動作保証外となります。
- USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- Macintosh は USB2.0 に対応していません。
- USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、コンピュータに直接接続してください。

なお、USB2.0 での動作については、エプソンのホームページでご確認ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしていますか？

EPSON Smart Panel は、操作パネルのボタンが押されたことを監視して、[コピー] などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『セットアップガイド（シート）』を参照し、EPSON Smart Panel をインストールしておいてください。

チェック

EPSON USB Scanner xxxx 機能拡張が使用停止になっていませんか？（Mac OS X を除く）

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scanner xxxx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

お使いのコンピュータおよび OS が、必要なシステム条件を満たしていますか？

お使いのコンピュータおよび OS のシステム条件については、以下の項目を参照してください。
「EPSON Scan のシステム条件」155

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしたユーザーがログインしていますか？（Mac OS X のみ）

インストールを行った方以外のユーザーがログインしている場合は、アプリケーションフォルダにある EPSON Scanner Monitor を実行してください。一度 EPSON Scanner Monitor を実行すれば、前面ボタンが使用できるようになります。

チェック

お使いになる OS にのみ、インストールされていますか？

１台のコンピュータに Mac OS X と Mac OS 9 のように複数の OS がインストールされている場合、EPSON Smart Panel は、お使いになる OS どちらか１方にのみ、インストールしてください。

両方の OS にインストールすると、正しく動作しません。

チェック

Classic モードは起動していませんか？

Mac OS X でお使いの場合、Classic モードが起動していると操作パネルのボタンが反応しなくなります。Classic モードを終了させてください。

チェック

必要な機能拡張が使用停止になっていませんか？（Mac OS X を除く）

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、以下の機能拡張がチェックされているか確認してください。

- EPSON FW Scanner Enabler
- EPSON FW Scanner Expert
- EPSON FW ScannerLib

チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

インストールが不完全な状態で終了していませんか？

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、『セットアップガイド（シート）』をご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

操作パネルのボタンを押したときの動作が違う

操作パネルのボタンを押したときの動作が意図した通りにならない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしていますか？

EPSON Smart Panel は、操作パネルのボタンが押されたことを監視して、[コピー]、[OCR] などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『セットアップガイド（シート）』を参照し、EPSON Smart Panel をインストールしておいてください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

プレビュー画像の色がおかしい

プレビューを実行したときの画像の色あいがおかしい。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[環境設定] ダイアログボックスの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

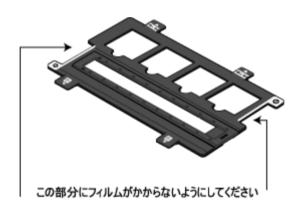
チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。詳しくは、EPSON Scan のヘルプの「環境設定」をご覧ください。

自動調整で意図した結果が得られない場合は、プロフェッショナルモードの [ヒストグラム調整] ダイアログボックスでハイライト / シャドウ / ガンマを調整してください。
「明暗を厳密に調整する方法」50

チェック

フィルムホルダの切り欠き部分に、フィルムがかかっていませんか？

同梱のフィルムホルダには、光量を補正するための切り欠き部分があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる

取り込んだ画像がぼけていたり、細部が良く見えなかったり、ゆがんでいる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

取り込み中に本機を揺らしていませんか？

本機に振動を与えないように気を付けながら、もう一度取り込んでください。

チェック

プロフェッショナルモードの場合、「アンシャープマスク」のチェックが外れていませんか？

メインウィンドウ上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてください。
「画像をシャープにする方法」42

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］の［カラー］タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。
［ 環境設定 ］ ダイアログボックスの詳細については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

原稿自体のピントがずれていませんか？

取り込む原稿自体のピントがずれている可能性があります。プロフェッショナルモードのアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてみてください。
「画像をシャープにする方法」42

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、次の項目を参照して対処してください。
「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」60

チェック

［環境設定］ダイアログボックスの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

解像度が適切に設定されていますか？

EPSON Scan の機能により、取り込む画像のきめ細かさ (解像度) を設定できます。適切な解像度を設定して取り込んでください。
「解像度について」184

点がいくつか現れるだけで画像にならない

取り込んだ画像に真っ白な点、または陰のような点がいくつか現れる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿台に原稿をセットしてありますか？

原稿台に原稿をセットしてください。原稿をセットしないで取り込むと、保護マットの裏を取り込むため、白い画像になるだけです。

チェック

原稿の取り込む面を下にしてセットしてありますか（原稿の裏面を取り込んでいませんか）？

原稿の取り込みを行う面を下にして（ガラスの面に向けて）セットしてください。

チェック

モノクロ（白黒 2 値）で取り込む場合、しきい値の設定は適切ですか？

プロフェッショナルモード／ホームモードのメインウィンドウで「しきい値」の設定を変更してみてください。設定を変更すると線や文字を取り込めるようになります。
「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」78

画像が暗い・原稿の裏面が透けて取り込まれてしまう

取り込んだ画像が暗い、原稿の裏の内容まで取り込まれる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、[環境設定] の [カラー] タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。自動露出は環境設定ダイアログボックスで設定できます。環境設定ダイアログボックスの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

[環境設定] ダイアログボックスの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。環境設定ダイアログボックスの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

裏が透けて見えるほどの薄い原稿を使用していませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。裏写りは、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります。

チェック

[原稿種] で [雑誌] または [新聞]、[自動露出] で [書類向き] を選択していますか？

ホームモードの場合は、[原稿種] リストから [雑誌] または [新聞]、プロフェッショナルモードでは、[自動露出] で [書類向き] を選択すると、ハイライト（画像の最も明るい部分）が 255（真っ白）になるように調整されます。そのため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。
「新聞・雑誌の取り込みに適した設定」83

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

取り込んだ画像に網目状の陰影（モアレ）が生じる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

［モアレ除去フィルタ］チェックボックスをチェックしていますか？（反射原稿のみ）

［モアレ除去フィルタ］をチェックすると、モアレを防止することができます。
「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」60

チェック

印刷物などのスクリーン処理された原稿を取り込んでいませんか？

印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で「アンシャープマスク」のチェックを外して取り込む
- [モアレ除去フィルタ] をチェックして取り込む
- 原稿の向きを変えて取り込み、アプリケーションソフトで本来の向きに回転する
- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで「ズーム」の設定を少し変更して取り込む

ポイント

画像取り込みにおけるモアレ
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像を本機で取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去機能を使用したり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができますが、完全に防ぐことはできません。

印刷におけるモアレ
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度と言います。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。

画像にむらやシミ、斑点がでる

取り込んだ画像にむらやシミ、斑点がでる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿台が汚れていませんか？

原稿台のガラス面は、いつもきれいにしておいてください。

汚れているときは、以下の項目を参照して、お手入れをしてください。
「スキャナ部のメンテナンス」164

チェック

取り込むとき、原稿を強く押さえ付けていませんか？

原稿は、静かに置いて取り込んでください。

画像を取り込むとき、原稿カバーや原稿を強く押さえ付けていると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点のでることがあります。
また、原稿の種類（紙種）によっても斑点がでる場合があります。その場合は、原稿をセットする場所や向きを変えてみてください。

画像が画面に大きく表示される

取り込んだ画像が必要以上に画面に大きく表示される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、取り込んだ画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。
その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますが、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

画像の色がセットした原稿と違う

取り込んだ画像がセットした原稿の色あいと異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

［イメージタイプ］を正しく設定していますか？

取り込む原稿の種類や画像の用途に合わせて、「イメージタイプ」を正しく設定してください。

チェック

画質調整を正しく設定していますか？

［リセット］ボタンをクリックし、再度、画質調整を行ってください。

チェック

ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？

フルカラー（1677 万色以上）のデータを表示させるのであれば、表示色を Windows の場合 High Color（65,000 色）以上、Macintosh の場合 32,000 色以上にしなければきれいな表示は得られません。

チェック

［環境設定］ダイアログボックスの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」181

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない

印刷物は CMY**（シアン・マゼンタ・イエロー** / **色の三原色）、ディスプレイは** RGB**（赤・緑・青** / **光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色あいを完全に一致させることはできません。**
自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan **またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。**

文字原稿の認識率がよくない

OCR ソフト（読ん de!! ココ パーソナルなど）で取り込んだ文字原稿の文字の認識率がよくない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿が斜めにセットされていませんか？

原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下します。まっすぐにセットしてください。また、原稿カバーを閉じる時は、原稿が動かないようにゆっくり閉じてください。

チェック

[イメージタイプ] を正しく設定していますか？

イメージタイプを「モノクロ」に設定し、プロフェッショナルモードの場合は、[モノクロオプション] を「なし」に設定して「しきい値」を調整してください。
しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」78

それでも認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

チェック

原稿の品質に問題がありませんか？

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。

- 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- FAX 受信した原稿
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り跡やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近
- 手書き文字

ポイント

詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイと印刷結果の色が合わない

せっかくきれいに取り込んだのに、印刷するとディスプレイと印刷結果の色あいが異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

カラーマッチング技術を使用してみましたか？

ディスプレイと印刷結果の色をできるだけ色を近づける方法として、Windows の「ICM」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング技術を使用してみてください。詳しくは以下で紹介している書籍「カラーマネージメント」を参考にしてください。
書籍のご案内
「カラーマネージメント！」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1
発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

また、印刷に使用するアプリケーションソフトで ICM の設定をしておいてください。設定しないと、ICM を使用してもディスプレイと印刷結果の色は合いません。
「カラーマネージメントシステムについて」192

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」181

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで画質を調整してみてください。

全自動モード、またはサムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない

全自動モード、またはホーム／プロフェッショナルモードのサムネイルプレビューで、コマが正常に切り出されない。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

全自動モード、サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？

セットした原稿が、全自動モード、サムネイルプレビューに対応した原稿であるか確認してください。対応している原稿は以下の通りです。詳しくは以下をご覧ください。
「全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法」9

写真や印刷物の場合：
カラーおよびモノクロの写真や印刷物（写真、新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など）。ただし、サムネイルプレビューの場合は写真のみです。

フィルムの場合：
• 35mm ストリップのネガ、ポジフィルム
• マウントされたポジフィルム
いずれも白黒、カラーフィルム対応。ただし、全自動モードはカラーフィルムのみです。

ただし、上記の原稿をセットしても、原稿によっては思った通りの結果で取り込まれない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して、手動で取り込み領域を指定してから取り込んでください。

チェック

極端に暗い（または明るい）画像をセットしていませんか？

以下のような画像をセットしていると、思った通りの画像を取り込めない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して、手動で取り込み領域を指定してから取り込んでください。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

チェック

原稿台のガラス面にゴミがありませんか？

原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合、コマが正常に切り出せない場合があります。

チェック

本機に付属のフィルムホルダを、正しい位置にセットしていますか？

必ず、本機に付属しているフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダはまっすぐにセットしてください。

チェック

サムネイル表示の場合、取り込み枠が適切な大きさに設定されていますか？

［環境設定］ダイアログボックスの［プレビュー］タブをクリックし、［サムネイル取込領域］のスライダを動かして、サムネイル表示での取り込み枠の大きさを調整してください。

チェック

標準コマとパノラマが混在していませんか？

標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常に認識されません。パノラマを含むフィルムを取り込む場合は、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して取り込んでください。

チェック

正しい原稿種を選択していますか？

原稿種で、セットした原稿に合った原稿種を選択しないと正常に取り込まれません。

チェック

保護マットを外していますか？

フィルムを取り込む場合は、必ず保護マットを取り外してください。

原稿種でフィルムを選択できない

プロフェッショナルモードの場合、原稿種で「フィルム」を選択できない、ホームモードの場合、原稿種リストボックスに、ポジフィルム、カラーネガフィルム、白黒ネガフィルムが表示されない。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

フィルムスキャンユニット用ケーブルが外れていませんか？

必ず、電源ボタンを押して電源をオフにしてから、フィルムスキャンユニット用ケーブルを本機にしっかりと接続してください。ケーブルが本機に接続されていないと、フィルムスキャンユニットが使えずフィルムを取り込めません。

「フィルムのセット方法」8

フィルムの取り込みで画像がおかしい

セットしたフィルムを取り込んでも、ディスプレイに表示される画像が意図しない結果となる。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

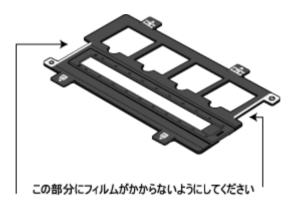
フィルムを正しくセットしていますか？

フィルムホルダにフィルムを正しくセットしてください。また、原稿台の正しい位置に、フィルムホルダをセットしてください。

「35mm ストリップフィルムのセット方法」11
「35mm マウントフィルムのセット方法」14

チェック

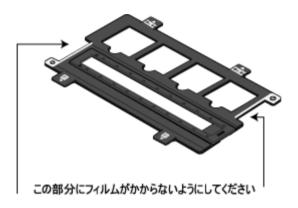
フィルムホルダの切り欠き部分に、フィルムがかかっていませんか？

同梱のフィルムホルダには、光量を補正するための切り欠き部分があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

ネガフィルムのプレビュー画像が粗い、色がおかしい

ネガフィルム取り込み時に、プレビューに表示される画像が粗い、色がおかしい。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

フィルムホルダの切り欠き部分に、フィルムがかかっていませんか？

同梱のフィルムホルダには、光量を補正するための切り欠き部分があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

色付きの縞模様が生じる

取り込んだ画像に色付きの縞模様が生じる。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

フィルムを表裏反対 (膜面を本機のガラス側) にして取り込んでみてく ださい。

膜面（取り込む面の反対側）を本機のガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入りますので、縞模様が発生しにくくなります。ただしこの場合、画像が鏡像反転しますので、サムネイル表示でプレビューし、[鏡像反転] ボタンで鏡像反転して取り込む本来の向きに戻してください。

ポイント

縞模様のことを、ニュートンリングと言います。
ニュートンリングとは、フィルムの取り込みで発生する、光学的な現象です。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生します。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生します）
フィルムを表裏反対（膜面を本機のガラス側）にして取り込むと、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなります。

ソフトウェア関連情報

EPSON Scan のシステム条件

EPSON Scan を使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

ポイント

以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

USB1.1 の場合

- Mac OS 8.6 以上 / Mac OS 9.x または、Mac OS X 10.2 以上のコンピュータ
- USB インターフェイスを標準装備している機種
- USB2.0 には対応していません。（2003 年 8 月現在）
最新の情報はエプソンのホームページでご確認ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

システムソフトウェア	Mac OS 8.6 から 9.x Mac OS X 10.2 以上 （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	128MB 以上 (256MB 推奨)
ハードディスク空き容量	インストール時：20MB 実行時：50MB（1GB 推奨） 取り込みを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。

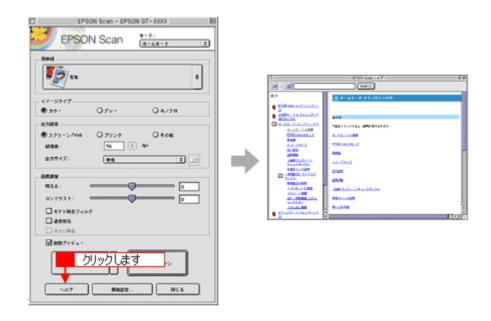
- Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。
- 本機は Mac OS X Classic 環境での動作はサポートしておりません。
- Mac OS X の UNIX ファイルシステム（UFS 形式）はサポートしておりません。他のドライブでお使いください。

各画面の説明を見たいときは

EPSON Scan の各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプは以下の方法で表示されます。

ヘルプの表示方法

EPSON Scan の使用時に、知りたい項目がある EPSON Scan の画面上で、［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

ヘルプが表示されます。

EPSON Scan の削除方法

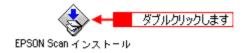
EPSON Scan を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

複数の EPSON スキャナの EPSON Scan をインストールしている場合には、EPSON Scan を削除するとすべてのスキャナのドライバが削除されます。
再度インストールする場合は、各機種用に用意された EPSON Scan を個別にインストールしてください。

Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

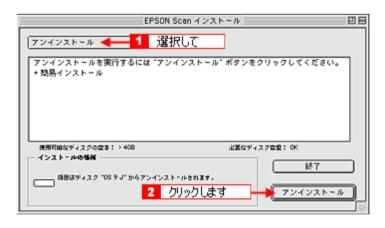
1. **本機の電源をオフにするか、または USB ケーブルを取り外します。**
2. **ソフトウェア CD-ROM をセットします。**
3. **Mac OS X の場合は、［Mac OS X］フォルダをダブルクリックします。**

4. **画面を下の方にスクロールさせ、［EPSON Scan］フォルダをダブルクリックします。**

5. **［EPSON Scan インストール］アイコンをダブルクリックします。**

6. **Mac OS X をお使いの方は、以下の画面が表示されたら、Mac OS にログインしているユーザーの名前とパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

7. 使用許諾契約の内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。

8. メニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］ボタンをクリックします。

EPSON Scan の削除が実行されます。

9. ［OK］ボタンをクリックします。

10. ［終了］ボタンをクリックします。

以上で削除は終了です。Macintosh **を再起動してください。**

EPSON Smart Panel

操作パネルのボタンを押すと EPSON Smart Panel のメイン画面が表示されます。EPSON Smart Panel では、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。

EPSON Smart Panel でできること

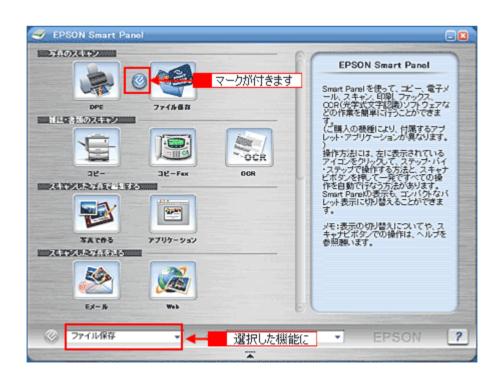
EPSON Smart Panel は、本機をより快適に活用できるアプリケーションソフトです。取り込んだ画像を、焼き増し印刷したり、文字原稿をテキストデータにしたり、編集することができます。詳しくは以下をご覧ください。
「画像を活用する場合のおすすめの方法」103

起動する機能を設定する

操作パネルのボタンを押したときに起動する機能を設定できます。

1. 画面左下の［EPSON Smart Panel］リストから、操作パネルのボタンを押したときに起動する機能を選択します。

2. 選択した機能のアイコンに操作パネルのボタンのマークが付きます。

操作パネルのボタンを押すとスキャナビマークの付いた機能が自動的に起動します。

こんなときは

ボタンを押しても目的別のアプリケーションソフトが起動しない場合
以下の内容を確認してください。アプリケーションソフトがインストールされていない場合は、『セットアップガイド（シート）』を参照してインストールしてください。
『セットアップガイド（シート）』

- ［OCR］**が起動できない場合は、読ん** de!! **ココがインストールされているかを確認してください。**

EPSON Smart Panel の削除方法

EPSON Smart Panel を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

1. ソフトウェア CD-ROM をセットします。

2. 画面を下の方にスクロールさせ、［EPSON Smart Panel］フォルダをダブルクリックします。

3. ［Japanese］フォルダをダブルクリックします。

4. ［Smart Panel Uninstaller］アイコンをダブルクリックします。

EPSON Smart Panel の削除が実行されます。

次の画面が表示されたら、［続ける］ボタンをクリックします。ただし、他のアプリケーションソフトで作業中の文書などがある場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてその文書を保存してください。

以上で EPSON Smart Panel の削除は終了です。

最新スキャナソフトウェアの入手方法

EPSON Scan や EPSON Smart Panel などのスキャナソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソンのホームページ、および CD-ROM による提供を行います。

入手方法

エプソンのホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/

ダウンロード方法／インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

2003年8月現在

メンテナンス

スキャナ部のメンテナンス

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でスキャナ部のお手入れをしてください。

本体の清掃

以下の部分が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

- 原稿台のガラス面
- 外装ケース
- 保護マット

シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。
本機には絶対に水などがかからないように注意してください。

蛍光ランプが切れたときの対応方法

蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

故障のとき

本体には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『基本操作ガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

故障かな ? と思っても、「困ったときは」の内容を確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。
「本体の動作確認」129

輸送するときは

本機を輸送するときは、衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

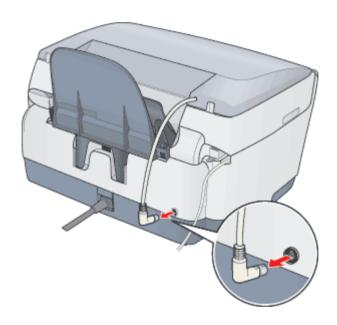
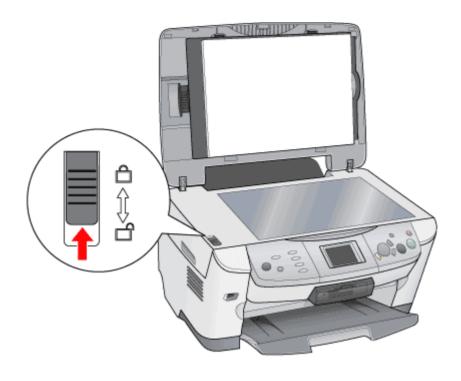
キャリッジ固定レバーのロック

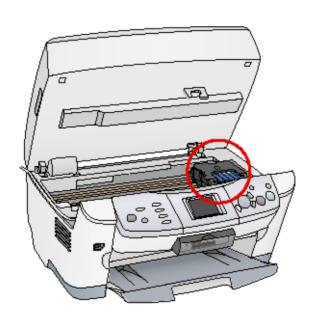
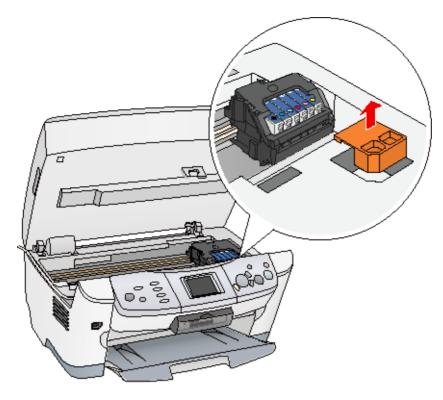
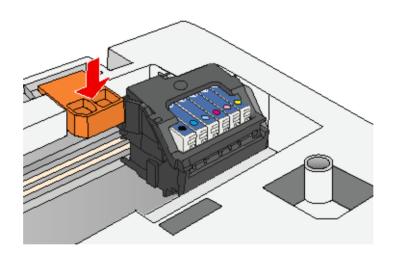
1. **キャリッジがホームポジションにあることを確かめます。**

   通常は、正しく取り込みが終了すると、キャリッジはホームポジションに移動します。

2. **電源ボタンを押して、電源をオフにします。**

3. **USB ケーブルを取り外します。**

4. **本機背面のフィルムスキャンユニット用ケーブルをコネクタから外します。**

5. **原稿台の横にある輸送用固定レバーを 🔒 位置にして、キャリッジを固定します。**

プリントヘッド用の固定具を取り付け

1. スキャナユニットを開けます。
2. プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。

3. 固定具（プリントヘッド用）を収納場所から取り出します。

4. **固定具をプリントヘッドの横に取り付けます。**

5. **スキャナユニットを閉じます。**

梱包

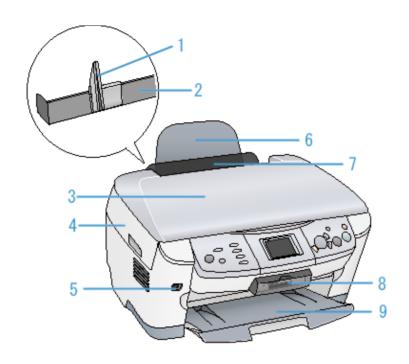
1. **用紙サポートを取り外します。**
2. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **梱包材を取り付け、本機を梱包します。**

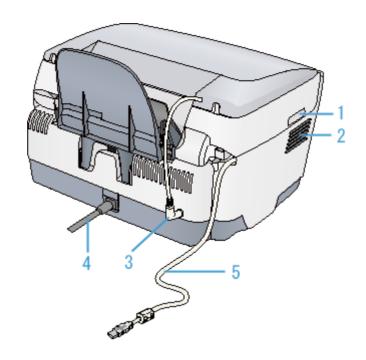
   専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

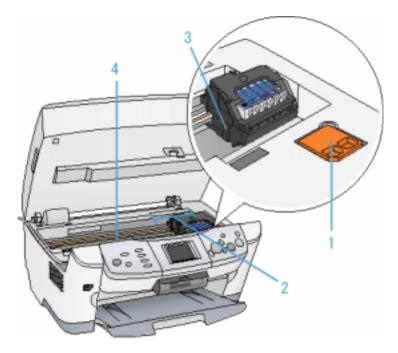
本機の輸送時は、本機の上下を逆にしないでください。

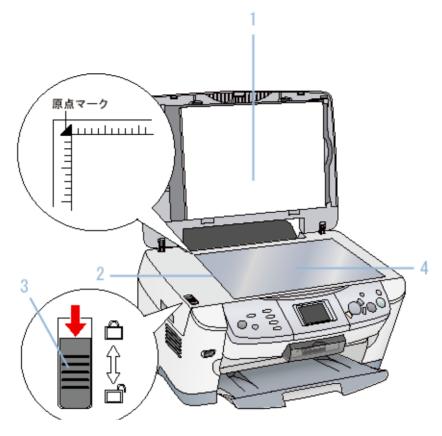
本機について

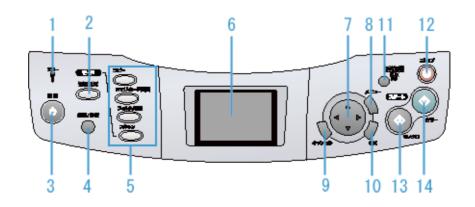
各部の名称と働き

前面

1	エッジガイド	用紙が横にずれないようにします。用紙を給紙口カバー右側の突起に沿わせてセットしてから、左側のエッジガイドをつまむように持ち用紙の側面に軽く合わせます。
2	オートシートフィーダ	セットした用紙を自動的に連続して給紙します。
3	原稿カバー	コピーやスキャナで原稿を読み取るときに開けて、原稿をセットします。通常は原稿をセットした後、閉じて外部の光をさえぎります。厚い本や原稿台よりも大きな原稿をセットするときは、取り外すこともできます。
4	スキャナユニット	インクカートリッジの取り付けや交換時、用紙が詰まったときなどに開けます。
5	外部機器／ Bluetooth ユニット接続コネクタ	外部機器（CD-R ドライブ /MO ドライブなど）や、デジタルカメラからの USB ケーブル、Bluetooth ユニットなどを接続するコネクタです。
6	用紙サポート	印刷するための用紙を支えます。
7	給紙口カバー	本体内部に異物が入るのを防ぐカバーです。
8	メモリカードスロット	メモリカードを差し込むスロットです
9	排紙トレイ	排出された用紙を保持します。

背面と側面

1	取手	スキャナユニットを開けるときに手をかけます。
2	通風口	本機の過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。設置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばには物を置かないでください。
3	フィルムスキャンユニット用ケーブル／ コネクタ	フィルムスキャンユニット用コネクタに差し込みます。
4	電源コード	AC100V の電源に接続します。
5	USB インターフェイスケーブル	コンピュータに接続する標準装備の USB ケーブルです。 あらかじめ本体にセットされています。使用しない場合は、取り外すことができます。 取り外し方法は、『基本操作ガイド』の「USB ケーブルの取り外し」を参照してください。

内部（スキャナユニットを開けた状態）

1	固定具（プリントヘッド用）の収納場所	本機の輸送用のプリントヘッド固定具を収納しておきます。 再輸送時には取り付けてください。
2	インクカートリッジ交換位置	インクカートリッジの取り付け時や交換時には、プリントヘッドがこの位置に移動します。
3	プリントヘッド（ノズル）	インクを用紙に吐出する部分です。
4	インク吸収材（内部）	フチなし全面印刷時に、はみ出したインクを吸収します。この部分に付いたインク（黄、赤、黒など）はふき取らずに、そのままお使いください。

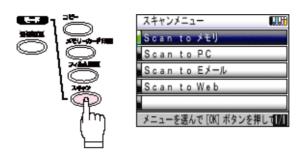
内部（原稿カバーを開けた状態）

1	保護マット	・写真や書類など（反射原稿※といいます）を取り込む場合は、必ず取り付けてください。 ※光を反射する原稿 ・ネガフィルムやポジフィルムなどを取り込む場合は、取り外します。
2	キャリッジ（内部）	原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いていて、取り込み時に移動します。 取り込み前のキャリッジの待機位置（左端）をホームポジションといいます。
3	輸送用固定レバー	輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのレバーです。
4	原稿台	原稿の取り込みたい面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示すスケールが付いています。

操作パネル

1	エラーランプ	本機がエラー状態のときに点灯してお知らせします。エラーの詳細は液晶ディスプレイのメッセージで確認できます。
2	［各種設定］ボタン	以下の詳細を確認・設定できます。 • 液晶コントラスト • ヘッドクリーニング • ノズルチェック • インク残量 • インクカートリッジ交換 • ギャップ調整 • オプション類の設定
3	［電源］ボタン	本機の電源をオン / オフします。
4	［給紙 / 排紙］ボタン	オートシートフィーダにセットされている用紙を給紙 / 排紙します。
5	［コピー］ボタン	原稿台にセットした原稿をコピーするモードにします。
	［メモリカード印刷］ボタン	メモリカードに収録されている写真を印刷するモードにします。
	［フィルム印刷］ボタン	フィルムスキャンユニットにセットしたフィルムから写真を印刷するモードにします。
	［スキャン］ボタン	原稿台にセットした原稿を取り込むモードにします。
6	液晶ディスプレイ	選択している写真をカラーで表示したり、各設定を表示します。5 分以上操作しないとスクリーンセーバーが起動します。キーまたはボタン（電源ボタン除く）を押したり、メモリカードを抜き差しをすると、元の画面に戻ります。
7	十字キー	項目や設定値を選択するときなどに使用します。
8	［メニュー］ボタン	コピーモードのときは、コピーレイアウトやコピー濃度の設定画面を表示します。 他のモードのときは、メニュー画面に戻ります。
9	［キャンセル］ボタン	操作パネルでの操作をキャンセルします。
10	［OK ］ボタン	変更した設定を有効にします。
11	［設定記憶］ボタン	よく使うコピーモードの設定（枚数以外）を 3 秒押すことで記憶します。記憶した設定を呼び出すには、このボタンを 3 秒未満押します。 記憶できるのは 1 件のみです。
12	［ストップ］ボタン	本機の状態により、次のように機能します。 • 印刷、スキャン中：動作を中止して、メニュー画面に戻ります。 • コンピュータから印刷中：印刷を中止して用紙を排紙します。
13	［モノクロ］ボタン	モノクロ印刷をします。
14	［カラー］ボタン	カラー印刷をします。

操作パネルからアプリケーションを起動する

操作パネルから、画像を取り込んだ後、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。

操作手順

1. **本機の操作パネルの［スキャン］ボタンを押して、スキャナモードにします。**

2. **操作パネルのボタンで「Scan to PC」を選択し、[OK] ボタンを押します。**

   EPSON Smart Panel が自動的に起動します。

ポイント

［Scan to PC］は、EPSON Smart Panel が起動しますが、［Scan to E メール］［Scan to Web］を選択すると、それぞれ「E メール」「Web」が起動します。

ボタンを使ってできること

EPSON Smart Panel では、取り込んだ画像をメール送信、DPE など、さまざまなアプリケーションソフトで利用することができます。

「画像を活用する場合のおすすめの方法」103

EPSON Smart Panel のコピー、DPE 機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

「書類や原稿をコピーしよう」113
「写真やフィルムの焼き増しをしよう」105

エラーメッセージ

本機がエラー状態になったときに、液晶ディスプレイにメッセージが表示され、エラーランプが点灯します。
エラー発生時に表示されるメッセージと、その対処は下表の通りです。

下表以外のメッセージについては、表示されているメッセージの手順に従ってください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	エラーの内容と解決方法	
XXX のインクカートリッジを認識できませんでした。正しくセットしてください。 純正品のご使用をお勧めします。	内容：	インクカートリッジに問題が発生しました。
	対処：	新しいインクカートリッジに交換してください。
XXX のインクがなくなりました。 OKボタンを押して、交換して ください。	内容：	XXX に表示された色のインクがなくなりました。
	対処：	[OK] ボタンを押すと、プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、スキャナユニットを開いてインクカートリッジを交換してください。
スキャナエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	内容：	スキャナ部で次のようなエラーが発生しました。 • キャリッジの固定レバーがロックされています。 • 蛍光ランプの交換が必要です。 • 本機が故障しています。
	対処：	電源をいったんオフにし、キャリッジの固定レバーが解除されているか確認します。 「各部の名称と働き」168 それでもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
スキャナユニットオープンエラーです。 スキャナユニットを閉じてください。	内容：	スキャナユニットが開いています。
	対処：	スキャナユニットを閉じてください。
用紙が詰まりました。カラーボタン または、給紙/排紙ボタンを押して ください。 エラーが解除されない 場合は、手で取り出してください。	内容：	用紙詰まりです。
	対処：	［カラー］ボタンまたは［給紙／排紙］ボタンを押します。うまく排紙されない場合には、詰まっている用紙を手で取り除きます。

用紙無しあるいは、給紙ミスです。 用紙をセットしてカラーボタンを 押してください。	内容：	用紙がセットされていません。
	対処：	オートシートフィーダに用紙をセットし、［カラー］ボタンを押します。
プリンタエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	内容：	プリンタ内部のエラーが発生しました。
	対処：	いったん電源をオフにした後、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが発生する場合は、プリンタ内部の部品調整が必要です。 お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
用紙が重なって給紙されました。 印刷されていない用紙を再度セットし、 カラーボタンを押してください。	内容：	用紙が重なって給紙／排紙されました。
	対処：	排紙された用紙で印刷されていないものを再度セットしてください。
Bluetooth モジュールでエラーが 発生しました。 モジュールを一旦取り外し、装着し直 してください。	内容：	別売の Bluetooth ユニットでエラーが発生しました。
	対処：	電源をオフにして、Bluetooth ユニットを取り付け直してください。
IrDA モジュールでエラーが発生 しました。 モジュールを一旦取り外し、装着し直 してください。	内容：	別売の赤外線通信カードでエラーが発生しました。
	対処：	電源をオフにして、赤外線通信カードを取り付け直してください。

対処が必要な情報メッセージ／警告メッセージ

メッセージ	内容と解決方法	
認識できませんでした。 写真を正しくセットしてください。 詳しくは、マニュアルを参照して ください。	内容：	セットされている写真を認識できませんでした。
	対処：	原稿台にセットする写真の位置を確認してください。 「基本操作ガイド」－［コピー時の注意とヒント］

認識できませんでした。フィルムを正しくセットしてください。詳しくは、マニュアルを参照してください。	内容：	セットされているフィルムを認識できませんでした。
	対処：	フィルムが正しくセットされているか確認してください。 「基本操作ガイド」－［印刷時の注意とヒント］
排紙トレイが閉じています。開けてから印刷を実行してください。	内容：	排紙トレイが閉じられたまま、コピーまたは印刷しようとしています。
	対処：	排紙トレイを開けてください。
プリンタ内部の部品調整が必要です。お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。	対処：	一旦電源をオフにしてください。再度電源をオンにしてもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

マメ知識

PRINT Image Matching について

PRINT Image Matching とは？

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステムです。
PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド（命令）が画像データに付加されます。
プリンタは、このコマンドに従って印刷します。これにより、スキャナで読み込んだ画像の場合は「画像にメリハリを付けて」、デジタルカメラで撮影した写真の場合は「撮影時にデジタルカメラが意図したとおりの最適な色あい」で、印刷できます。
PRINT Image Matching の機能は、カラーマッチングを目指したものではなく、PRINT Image Matching 対応の EPSON プリンタで鮮やかに印刷するための機能です。

どんな効果があるの？

「デジタルカメラの画像を印刷してみたら、思っていたイメージとちょっと違う」というケースがありませんか？それはデジタルカメラとプリンタのマッチングがうまく取れていないからです。PRINT Image Matching は、このようなケースで効果を発揮します。またスキャナの場合は、PRINT Image Matching の効果を積極的に採用することで、印刷結果が生き生きとしてきます。

効果 1（デジタルカメラ / スキャナ）

「色」や「明るさ」の情報をプリントコマンドにしてプリンタに伝えることにより、印刷時の「色」や「明るさ」が最適になります。色の表現力の豊かさを決める「色空間」、色の明るさを決める「プリントガンマ」という画像の品質を決める項目をプリントコマンドで伝達して印刷します。

γ=1.4

γ=1.8

γ=2.2

効果 2（デジタルカメラ）

撮影時の意図が印刷結果に反映されます。
例えば、マクロ写真なら「狙った通りの色鮮やかでくっきりとした画質」で印刷、ポートレート写真なら「やわらかなトーンで美しい肌色」で印刷など、撮影時にデジタルカメラでプリントコマンドが設定されていれば、デジタルカメラの意図したイメージそのままに印刷できます。

シャープでコントラストの高いプリント

軟調で肌色部分を記憶色に補正したプリント

効果 3（デジタルカメラ）

デジタルカメラの個性をプリンタで表現できます。
PRINT Image Matching 機能搭載デジタルカメラと PRINT Image Matching 対応プリンタを組み合わせれば、デジタルカメラが持っている個性を印刷画像に反映できます。これにより、PRINT Image Matching 機能搭載機種によって、あるいはそのカメラの設定によって、プリント画像の色あいに違いが現れます。

ポイント

デジタルカメラ / スキャナ以外には利用できないの？
PRINT Image Matching は、スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラで撮影した画像だけでの利用に限りません。アプリケーションソフトなどの対応が広がっていますので、今後も多くの PRINT Image Matching 対応製品から、より効果的な印刷ができるようになります。

どうやって使うの？

PRINT Image Matching 機能を使用するときは、スキャナ、プリンタ、印刷する用紙、アプリケーションソフトが、PRINT Image Matching に対応している必要があります。

印刷手順

EPSON PhotoQuicker で写真データを読み込みます。後は、印刷したい画像を指定するだけで簡単に印刷できます。

この後の画面は、Windows XP を例にしています。

1. **写真を読み込みます。**

［フォルダ］ボタンをクリックして、写真を保存しているフォルダを選択します。

2. **印刷する写真を選びます。**

印刷する写真をクリックし、印刷枚数を設定して、［すすむ］ボタンをクリックします。

ポイント
［写真編集］ボタンをクリックすると、［写真編集］画面が表示され、写真の補正と調整ができます。

3. **用紙サイズとレイアウトを選択します。**

使用するプリンタ名が画面右上に表示されていることを確認し、プリンタにセットした用紙サイズと印刷したいレイアウトを選択して、［すすむ］ボタンをクリックします。

お使いのプリンタによって、選択できる用紙サイズとレイアウトは異なります。

4. **用紙種類を選択して、印刷を実行します。**

プリンタにセットした用紙の種類を選択して、［プリント］ボタンをクリックします。
写真の印刷が始まります。

お使いのプリンタによって、選択できる用紙種類は異なります。

以上で、EPSON PhotoQuicker **での基本的な印刷方法の説明は終了です。**

ポイント

- **「写真編集」画面で、**Exif Print **機能** /PRINT Image Matching **機能の有効** / **無効を選択できます。**
- EPSON PhotoQuicker **を使用せず、**PRINT Image Matching **未対応の一般のレタッチソフトから印刷する場合には、**PRINT Image Matching **機能はご利用になれません。**
  また、PRINT Image Matching **未対応の一般のレタッチソフトで保存したものを** EPSON PhotoQuicker **で読み込んで印刷する場合も、**PRINT Image Matching **機能はご利用になれません。**

◆◆ EPSON PhotoQuicker **の詳しい使い方◆◆**
EPSON PhotoQuicker **オンラインヘルプをご覧ください。**

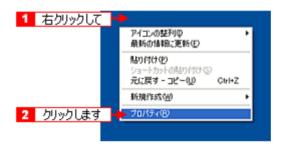
ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などを、いくつの色数を使って表現するか設定することができます。ディスプレイ、印刷結果ともに、よりきれいに表現するためには［16bit］、［24bit］などの値に設定する必要があります。
ここでは、表示色の設定方法とディスプレイの調整方法について説明します。

ディスプレイの表示色の設定

ポイント
設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。

1. **表示色の設定をする画面を開きます。**

Mac OS 8.6 ～ 9.x の場合は、画面左上のアップルメニューをクリックしてから、［コントロールパネル］-［モニタ］の順にクリックします。
Mac OS X の場合は、アップルメニューをクリックしてから、［システム環境設定］-［ディスプレイ］をクリックします。

ポイント
すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. **表示色を設定します。**

カラーの一覧から、［色 32000 色］または［約 1670 万色］をクリックして選択します。

3. **画面を閉じます。**

以上で、設定は終了です。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。

このように偏った表示をしている状態では、本機から取り込んだ画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色あいで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、非常に手間がかかり、測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。**

   室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。**

3. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

4. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、本機で取り込んだ画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。**

5. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

   これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　**発行所：株式会社** IDG **コミュニケーションズ（**1998 **年初版発行）**

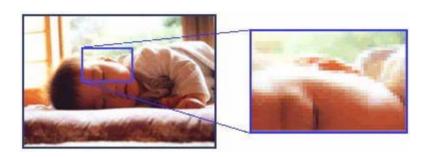
解像度について

より美しい画像を印刷するためには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと印刷解像度について説明します。

解像度とは

本機で取り込まれた画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。

ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」［25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）］という単位で、これは、25.4mm（1 インチ）当たりにどれだけ点が含まれているかを示しています。

解像度が高い画像は、解像度が低い画像に比べて、より多くの点の集まりで構成されているため、きめの細かい、美しい画像となります。
ただし、解像度が高い画像は、解像度の低い画像に比べて、データの容量が大きくなります。

画像データの解像度と印刷解像度の関係

印刷の設定をいくら高記録解像度に設定して印刷しても、本機で取り込んだ画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。印刷解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。

基本的には、画像データの解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
「解像度を上げるときれいになる？」44

プリンタ出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータを作成してください。

100dpiの画像データ

240dpiの画像データ

ポイント

EPSON インクジェットプリンタの各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合 ）

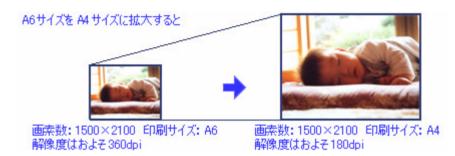
最適な印刷結果が得られる解像度の範囲です。
・印刷解像度の整数分の一倍（例えばプリンタの 1440dpi の 6 分の 1 である 240dpi など）を指定すると、ジャギー（線のギザギザ）が目立たなくなります。
・モノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安
	100dpi 200dpi 300dpi 400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●● (100dpi〜200dpi付近)
スーパーファイン印刷	●●●●●●●● (200dpi〜300dpi付近)
フォト印刷	●●●●●●●● (300dpi〜400dpi付近)
スーパーフォト印刷	●●●●●●●● (300dpi〜400dpi付近)

印刷サイズと解像度の関係

一つの画像データに含まれる点(ドット)の総数を画素数(ピクセル数)と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り拡大 / 縮小してもその数は変わりません。

つまり、先程ご説明したように、300dpi の画像データは、そのままのサイズで印刷すれば十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点(ドット)も大きくなることで解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。

逆に、画素数の多い画像データを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

下表は、本機による画像取り込みで生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量(ファイルサイズ)と印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。

＜反射原稿の場合＞

スキャン解像度	原稿サイズ	画素数(ピクセル)(24bit カラーの場合)		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	L判	1051	1500	4.5	◎	◎	○	×	×
300	ハガキ	1181	1748	5.9	◎	◎	○	×	×
300	A4	2480	3508	24.9	※	※	※	◎	○
600	L判	2102	3000	18.0	※	※	※	◎	○
600	ハガキ	2362	3496	23.6	※	※	※	◎	○
600	A4	4961	7016	99.6	※	※	※	※	※
1200	L判	4205	6000	72.2	※	※	※	※	※
1200	ハガキ	4724	6992	94.5	※	※	※	※	※
1200	A4	9921	14031	398.3	※	※	※	※	※

＜フィルムの場合＞

スキャン解像度	原稿サイズ	画素数（ピクセル）（24bit カラーの場合）		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	35 mm フィルム	283	425	0.3	×	×	×	×	×
300	ブローニ（6 x 4.5）フィルム	490	661	0.9	×	×	×	×	×
300	ブローニ（6x7）フィルム	661	815	1.5	○	×	×	×	×
300	4x5 インチフィルム	1134	1429	4.6	◎	○	○	×	×
600	35 mm フィルム	567	850	1.4	○	×	×	×	×
600	ブローニ（6 x 4.5）フィルム	980	1323	3.7	◎	○	○	×	×
600	ブローニ（6x7）フィルム	1323	1630	6.2	◎	◎	○	×	×
600	4x5 インチフィルム	2268	2858	18.5	※	※	※	○	○
1200	35 mm フィルム	1134	1701	5.5	◎	◎	○	×	×
1200	ブローニ（6 x 4.5）フィルム	1961	2646	14.8	※	※	※	○	○
1200	ブローニ（6x7）フィルム	2646	3260	24.7	※	※	※	◎	○
1200	4x5 インチフィルム	4535	5717	74.2	※	※	※	※	◎
1600	35 mm フィルム	1512	2268	9.8	※	※	◎	○	×
1600	ブローニ（6 x 4.5）フィルム	2614	3528	26.4	※	※	※	◎	○
1600	ブローニ（6x7）フィルム	3528	4346	43.9	※	※	※	※	◎
1600	4x5 インチフィルム	6047	7622	131.9	※	※	※	※	※
2400	35 mm フィルム	2268	3402	22.1	※	※	※	◎	○
2400	ブローニ（6 x 4.5）フィルム	3921	5291	59.4	※	※	※	※	◎
2400	ブローニ（6x7）フィルム	5291	6520	98.7	※	※	※	※	※
2400	4x5 インチフィルム	9071	11433	296.7	※	※	※	※	※

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。

◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。

○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。

（注：×：出力解像度 150dpi 未満、○：150 〜 250 dpi、◎：250 〜 360 dpi、※ : 360dpi 以上で判定してあります）

- 上表の「解像度」とは、EPSON Scan において出力サイズを等倍にしたときの解像度設定値です。

- **出力サイズを** L **判などの印刷サイズに設定した場合は、解像度は、**300 dpi **に設定してください。**
  EPSON Scan **のホームモードにおいて、出力先をプリンタに選ぶか、プロフェッショナルモードで解像度を** 300 dpi **に設定して、印刷サイズに対応する出力サイズを選択すれば、拡大倍率を計算して自動的に最適な解像度で取り込みます。**
  たとえば、35 mm **フィルム１コマを** L **判に印刷する場合、約** 3.7 **倍の拡大率となりますので、実際には、およそ** 1100 dpi **でスキャンされます。**

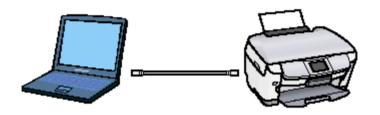
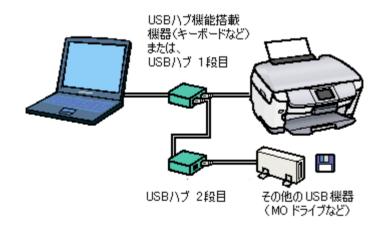
USB について

複数の USB 機器を接続する方へ

1 台のコンピュータに、本機のほかにも USB 機器を接続して使用する場合、使用できるポートがコンピュータにない場合は、「USB ハブ」を別途ご用意ください。

ポイント

- USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
  USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- Macintosh は USB2.0 に対応していません。

USB 機器が本機のみの場合

複数の USB 機器を接続する場合

USB 接続では、マウス / スキャナ / プリンタなどの周辺機器を、1 つのインターフェイスで最大 127 台まで接続することができます。
USB ハブがない場合は、使用したい機器をその都度つなぎ変える必要があり、不便です。

ポイント

本機を USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作の保証は致しかねます。USB ハブについては、コンピュータをお買い上げの販売店にご相談ください。

USB ケーブルについて

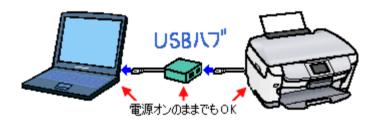
本機との接続には、本機に接続されている USB ケーブルをお使いください。

タイプ A コネクタ（コンピュータ側）	タイプ B コネクタ（USB 機器側）

USB ケーブルは、コンピュータ側（上位）と USB 機器側（下位）とで、接続するコネクタの形状が異なります。

USB の基礎知識

- 電源をオン / オフする順序は、USB 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。

- USB 接続では、コンピュータや USB 機器の電源がオンの状態のまま、USB 機器を接続したり、外すことができます。

色について

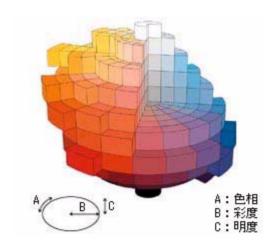
普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色あい）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。

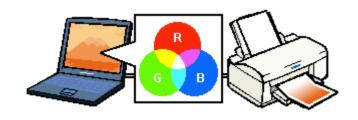
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合を言います。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。

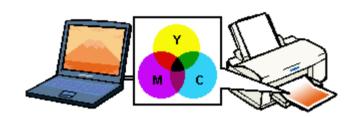
これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。

この方法は、どの色も光っていない状態（全てが 0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス＜減法混色＞

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。）

例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。
この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い＜ディスプレイとプリンタ出力＞

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色あいに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

本機で読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （CMY）→ ディスプレイ （RGB）→ 印刷（CMY）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

カラーマネージメントシステムについて

カラーマネージメントシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色－ RGB と色の三原色－ CMY)、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON Scan は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON Scan は、ColorSync2.0 以降に対応しています。
ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync 以降に対応していなければ、ICM または ColorSync の機能は利用できません。

ICM ／ ColorSync を使用した取り込みから印刷までの手順

1. モニタを調整します。詳しくは、以下の項目を参照してください。

「ディスプレイについて」181

モニタが正しく調整されていなければ、ICM ／ ColorSync を使用しても、またどのようなアプリケーションソフトを使用しても、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません。

2. モニタ用のカラープロファイルをシステムに追加します。手順は次の通りです。

ColorSync 3.0 の場合を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

(1) コントロールパネルの [ColorSync] アイコンをダブルクリックします。

(2) [プロファイル] 画面の [ディスプレイ] リストに、モニタ用のプロファイルが表示されます。これを変更するには、モニタコントロールパネルを開いて [カラー] ボタンをクリックし、リストからプロファイルを選択してください。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

ポイント

- Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択しておくとよいでしょう。
- モニタ用のカラープロファイルは、モニタのメーカーから提供されるものです。そのため、以下の内容についてはモニタのメーカーにお問い合わせください。

- お使いのモニタ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません）
- 提供されていれば、そのプロファイル名

3. アプリケーションソフトで、ICM ／ ColorSync をオン にします。

4. EPSON Scan の [環境設定] で [ICM ／ ColorSync] を選択し、ソースプロファイルとターゲットプロファイルを設定します。

5. 画像を取り込みます。

6. ICM ／ ColorSync を使用して取り込んだ画像を印刷する時は、プリンタドライバで ICM ／ ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、プリンタドライバの取扱説明書をご覧ください。

この時、アプリケーションソフトのカラーマネジメント機能はオフにしておいてください（プリンタカラー管理をオンにしてください）。

基本仕様

本機の技術的な仕様について記載します。

基本仕様（スキャナ部）

型式	フラットベット・カラーイメージスキャナ
走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りセンサ	6 ライン CCD オンチップ マイクロレンズ付
原稿サイズ	A4、US レター
最大有効領域	216mm x 297mm
最大有効画素	主走査 20,400 画素 x 副走査 28,080 画素（2400dpi）
センサ解像度	主走査：2400dpi 副走査：4800dpi
読取解像度	50 〜 6400dpi まで（1dpi 刻みで設定可能）、（12800dpi は 6400dpi × 200 %で実現）
階調	各色 16bit（入力）/ 1,8,16bit（出力）
読取り速度	• 2400dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ 2 値：約 13.7 msec/line フルカラー：約 13.7msec/line • 600dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ 2 値：約 4.8msec/line フルカラー：約 4.8msec/line

電気仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 〜 110V
定格周波数	50 〜 60Hz
入力周波数範囲	49.5 〜 60.5Hz
定格電流	0.8A
消費電力	コピー時平均約 23W （ISO/IEC 10561 レターパターン原稿コピー） 低電力モード 時約 6W
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCI クラス B

環境条件

温度	動作時 :10 ℃〜 35 ℃ 輸送時 :-20 ℃〜 60 ℃（40 ℃の場合 1 ヵ月以内、60 ℃の場合 120 時間以内）
湿度	動作時 :20 〜 80 %（非結露） 保存時 :20 〜 85 %（非結露） 輸送時 :5 〜 85 %（非結露）

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度 異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光、光源の近くは避けること

原稿条件

反射原稿	写真、印刷物など、表面が滑らかなもの 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがあります 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りして取り込むことがあります
フィルム	ネガ、ポジの各フィルムを専用フィルムスキャンユニットで取り込む

ユーザーズガイドの削除方法

ここでは、ユーザーズガイドを削除する手順をご説明します。

Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

1. ［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。

ポイント

- ［Macintosh HD］というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。
- インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。

2. ［EPSON PM-A850 マニュアル］フォルダをゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。デスクトップにエイリアスがある場合には、同じようにゴミ箱に捨てます。

以上で削除は終了です。

通信販売（消耗品）のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ	http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号	0120- 251- 528 （フリーダイヤル）
	受け付け時間	月〜金曜日　AM9:00 〜 PM6:15 土曜日　AM9:00 〜 PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。	
お届け予定日	本州 / 九州 / 四国	翌日
	北海道 / 沖縄	翌々日

※一部、上記日程でお届けできない地域がございますので、あらかじめご了承ください。

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。	
クレジットカード	取り扱いカード	UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア 振込み（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。 請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたはお電話にてご確認ください。	
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。上記のホームページまたはフリーダイヤルにてお申し込みください。	

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話 にてご確認ください。

商標・表記について

商標について

- EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
  EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- トラブル解決アシスタントはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows XP(R) Home Edition/Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 98 / Me / 2000］のように、Windows の表記を省略することがあります。

文字サイズの変更

変更手順

［表示］メニューをクリックして、［文字の拡大］クリックし、拡大率を選択します。

ポイント

ここでは、Microsoft Internet Explorer の場合を例に説明します。
なお、変更方法はお使いブラウザやバージョンによって異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

このガイドの使い方

本ガイドをご覧いただくには、Internet Explorer 5.0 以上をご使用になることをお勧めします。

本文中で使用している記号について

本文中で使用しているマークには、以下のような意味があります。

注意	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
注意	製品注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
ポイント	ポイント	ご使用上、知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。
こんなときは	こんなときは	操作を間違った場合や説明通りにならない場合などの、対処方法や補足事項を記載しています。
	参照	関連したページへジャンプします。

Mac OS X のブラウザ Safari でご覧の方へ

Safari で本ガイドを表示すると、閲覧に一部制限があります。

ページ内の項目へジャンプできない

制限

各ページの先頭にある「このページのもくじ」の マークが付いているリンク元をクリックしても、該当箇所へリンクしません。

対処方法

画面をスクロールして、該当箇所へ移動してください。

もくじの小見出しから、該当箇所へジャンプできない

制限

もくじの小見出しをクリックすると、そのページの該当箇所に直接リンクせずに、そのページのトップへリンクします。

対処方法

画面をスクロールして、該当箇所へ移動してください。

［トップページへ］ボタンを押したときに画面が白くなる

制限

本ガイド上部の［トップページへ］ボタンや［戻る］ボタンを押したときに、画面が白くなったり、一部欠けて表示される場合があります。

対処方法

もう一度［トップページへ］ボタンを押すか、キーボードの［アップル］キー＋［R］キーを押して、ページの再読み込みをしてください。

用語集

ここでは、スキャナ関連の用語を説明します。

英数字

API（エーピーアイ）

Application Program Interface の略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のある API を定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAIN（トゥウェイン）とは、スキャナを制御するための API の規格。

bit（ビット）

binary digit（２進法）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 で表す。8bit で 0 〜 255、16bit で 0 〜 65,535 の数値（デジタルデータ）を表すことができる。本機および EPSON Scan は各色 16bit での出力が可能なので、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 65,536 階調、トータルで約 281 兆 5 千億色の表現力がある。

I/O（アイオー）ポートアドレス

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間で I/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

PDF（ピーディーエフ）

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、Acrobat Reader（Adobe Reader）という無料ソフトによって閲覧できる。

PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステム。
PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド（命令）が画像データに付加される。

TWAIN（トゥウェイン）

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。

付属の EPSON Scan は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。
コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。
USB2.0 の特徴はデータ転送速度の理論値が最大 480Mbps と、USB1.x の 12Mbps より 40 倍高速なことである。
また、今までの USB1.x と互換性があり、ケーブルやコネクタは同じものが使用可能である。

アイウエオ

アンシャープマスクフィルタ（unsharp mask filter）

画像にかける輪郭強調のフィルタ。通常画像を縮小すると、周りの画素の情報を取り込んで縮小化されるために、画像が相対的にぼけて見える傾向がある。それを修正するために、画像に対して輪郭強調をかける処理。

印刷線数（screen ruling）

スクリーン線数とも言う。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される）。

網点が約 25.4mm ｛1 インチ｝の幅に何列あるかを線数と言い、単位は lpi（line per inch）で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。

一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

解像度（resolution）

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm ｛1 インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］と言い、単位は dpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→画像を取り込むときに、EPSON Scan で設定する解像度
画像データ自体を構成する画素（点）が約 25.4mm ｛1 インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

取り込む画像の解像度は 50 ～ 12800dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度を必要以上に高く設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

階調（gradation）

自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切ってデータ処理する。その各段階の濃度を階調という。

区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 256 階調（8bit）、トータル 16,777,216 色（24bit）になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

画素（pixel）

画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

ガンマ（gamma）

画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

キャリッジ（carriage）

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションという。

クリップボード（clip-board）

ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

原色（primary color）

スキャナのカラー取り込みや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤（R）、緑（G）、青（B）の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒（K）も使用する。

自動露出 (auto exposure)

原稿を自動解析して最適な読み取りに設定する機能。

ストリップフィルム（strip film）

一般の 35mm フィルム（ネガ / ポジ）を 6 コマずつに切ったフィルムのこと。

ズーム（zoom）

画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるように取り込む機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、読み取る画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

走査（scan）

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルタで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査という。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）という。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

チェックボックス（check box）

項目（機能）の有効 / 無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効 / 無効を切り替えることができる。

ドラッグ（drag）

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ニュートンリング（newton ring）

フィルムの取り込みで発生する、光学的な現象。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生する。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生する）

フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込むと、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなる。

濃度補正（tone correction）

濃度はトーンともいう。スキャナで取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができる。

ハイライト、シャドウ（highlight, shadow）

ハイライトは最も明るい部分、または画像の最も明るくしたい部分。シャドウは最も暗い部分、または画像の最も暗くしたい部分。

ピクセル（pixel）

解像度（表示解像度）を参照。

ヒストグラム（histogram）

画像の黒（0）〜白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって。画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。

EPSON Scan の［ヒストグラム調整］ダイアログボックスでは、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

ベース面（base side）

フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。（膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいう）

膜面（emulsion side）

ベース面の説明を参照。

マウントフィルム（mounted film）

スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。スライドフィルム（slide film）ともいう。

メモリ（memory）

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。

画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モアレ（moire）

印刷におけるモアレ：
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度という）。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像取り込みにおけるモアレ：
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去を ON にしたり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0498_00	全て	新規制定	
NPD0498_01		「エラーメッセージ」「基本仕様」「通信販売のご案内」記載変更・誤記訂正	